2026年　大原簿記情報医療専門学校浜松校

実務経験のある教員による授業科目一覧

2年制 公認会計士税理士科

ID	授業科目	授業形態	年次	時期	単位数	実務家	教員名	経験	授業目的	授業概要
1010	上級商簿会計Ⅰ	講義	1	前期	5	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身に付ける。	企業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級の最短合格のための学習をします。中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要する。
1010	上級商簿会計Ⅰ	講義	1	前期	5	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身に付ける。	業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級の最短合格のための学習をします。中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要する。
1011	上級商簿会計Ⅱ	講義	1	前期	1	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を身に着けるための学習の前半部分である。	中級までに学習した内容をより深く学習するとともに、新たに企業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級を合格するための学習である。
1020	上級簿記演習	演習	1	前期	2	実務経験あり	岡井俊文	医療機関での医療事務実地研修経験	簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。	上級工簿原計Ⅰで学習した内容を前提に、本試験形式の問題を使用して問題の解答に取り組み、解説で内容の定着を図る。
2000	PC入門	講義	1	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	企業実務に正確かつ迅速に対応できるよう、表計算ソフトの基本的な操作スキルを習得する。	ビジネスアプリケーションソフトを中心にオペレーティングおよび表計算技術を習得する。
2204	就職対策Ⅰ(会税)	講義	1	前期	1	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	学生にとっての幸せな就職を実現させることを最終目的とし、そのために必要な基本的就職支援を行うこと。	就職後に必要となる基本的なIT活用力や海外行動力を高めるための講義を行うとともに、グループワークを取り入れたコミュニケーション能力向上を目指す。
2205	就職対策Ⅱ（会税）	講義	1	後期	2	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	就職活動を円滑にかつ効率的に進めることを目的とする。また人生設計の礎をしっかり根付かせることで、自分で考え、行動し、決断できる学生の育成を目指す。	将来の職業意識を高め、就職試験対策として必要な基礎知識習得や自己分析等の受験準備指導を、集団形式・個別形式を交えて行う。
3011	簿記論入門	講義	1	前期	1	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。	税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。
3012	簿記論A	講義	1	後期	6	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。	税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。
3013	簿記論B	講義	1	後期	5	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。	税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。

3014	簿記論C	講義	1	前期	10	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。	税理士試験簿記論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。
3021	財務諸表論入門	講義	1	前期	1	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。	税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。
3022	財務諸表論A	講義	1	後期	6	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。	税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。
3023	財務諸表論B	講義	1	後期	5	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。	税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。
3024	財務諸表論C	講義	1	前期	10	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。	税理士試験財務諸表論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。
7000	ビジネス基礎(共通)	実習	2	前期	4	実務経験あり	西田裕香	一般企業での総務勤務経験	ビジネスマナーや社会常識の習得を通して新社会人としての意識を養成する。また、各種実務において必要となる文書作成ソフトなどのパソコン活用技能の習得を目的とする。	社会人として求められる言葉遣いや身だしなみをはじめ、接遇マナーや、あらゆる職種に共通する基本的な知識・技能を身につけ、入社に備える。
7001	ビジネスマナー基礎	実習	2	後期	1	実務経験あり	大内史彦	医療機関での医療事務実地研修経験	新社会人として求められるマナーや社会常識を実践的に学び、ビジネスマインドの定着を図る。	電話応対の実習を通して、社会人として適切な言葉遣いや対応力を身につけ、入社後の業務に備える。
7003	ビジネス応用(事務Ⅰ)	実習	2	後期	8	実務経験あり	大内史彦	医療機関での医療事務実地研修経験	新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。	社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。
7004	ビジネス応用(営業販売Ⅰ)	実習	2	後期	8	実務経験あり	西田裕香	一般企業での総務勤務経験	「コスト意識」や「費用対効果」について理解を深めるとともに、財務諸表に関する知識を身につけ、企業の安全性などを比較・分析できる力を養う。また、数字に強くなり、抽象的ではなく具体的な表現で説明できる力を身につける。	顧客視点および経営側の視点から考える体験を通して、マーケティングに必要な能力を身につける。企業の実際のデータを基に分析を行い、収益力向上のための企画をグループワークで立案する。
7007	ビジネス応用(事務Ⅱ)	実習	2	後期	3	実務経験あり	大内史彦	医療機関での医療事務実地研修経験	新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。	社会人、特に事務職に求められる状況に応じた接遇マナー、電話応対をはじめとする内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。
7008	ビジネス応用(営業販売Ⅱ)	実習	2	後期	3	実務経験あり	西田裕香	一般企業での総務勤務経験	マーケットに対して様々な角度から情報収集を行い、グループ研究および発表のプロセスをグループワークで実践することで、コミュニケーション能力と情報分析能力の向上を目指す。	マーケティングの授業で学んだ顧客視点および経営側の視点を基に、協力企業の実店舗を対象として「売上を伸ばすための改善提案」を企画し、プレゼンテーションを行う。

7100	インターンシップ	実習	1	前期	1	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	職場体験を通して職業を理解し、職業に就くための課題を見つけ今後の学生生活に役立てる。	実務家講演や職場見学・体験などの実習を通して、学習した知識や技能が実社会でどのように活かせるかを学び、自身の課題を発見し解決するきっかけを作る。
7101	企業研修Ⅰ	実習	2	後期	7	実務経験あり	早川依里	医療機関での医療事務実地研修経験	学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を内定先企業等で使える知識・技術として向上させ、社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。	内定先企業等における実習を行う。また、定期的に個別面談を行い、実習の進捗状況確認を行うとともに業務面や精神面における助言・指導を行う。
7102	企業研修Ⅱ	実習	2	後期	3	実務経験あり	早川依里	医療機関での医療事務実地研修経験	学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を内定先企業等で使える知識・技術として向上させ、社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。	内定先企業等における実習を行う。また、定期的に個別面談を行い、実習の進捗状況確認を行うとともに業務面や精神面における助言・指導を行う。
7200	キャリアデベロップメントA	講義	1	前期	1	実務経験あり	早川依里	医療機関での医療事務実地研修経験	医療保険制度の概要を理解するとともに、外来診療に伴う医療請求（診療報酬）の初歩的な知識やレセプト作成技術を習得する。	主に医療保険制度の概要と初歩的な基本診療料（初診料、再診料）を取り扱い、医療業界で働くことに対する意欲の確認と自己適性を判断しやすくなるような授業を行う。
7201	キャリアデベロップメントB	講義	1	前期	1	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	税理士試験会計科目の学習内容の理解。	税理士試験の会計科目である簿記論、財務諸表論の導入を学ぶ。
7202	キャリアデベロップメントC	講義	1	前期	1	実務経験あり	新村優希	一般企業での事務・経理・総務勤務経験	プレゼンテーションの基本を学び、それを基礎として初歩的なビジネス思考を理解する。	与えられた条件のもとで、自分の持つ情報・事実・考えなどを相手に分かりやすく正確に伝え、理解・納得してもらうためのプレゼンテーション技術を身につける。
7203	キャリアデベロップメントD	講義	1	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	基本情報処理の初歩を学び理解をする	進数計算、コンピュータの構成要素基礎、データベース基礎、ネットワーク基礎、アルゴリズム基礎を学び基本情報技術者試験の基礎的な内容を学ぶ
7300	ファイナンシャルプランニング	講義	2	前期	4	実務経験あり	新村優希	一般企業での事務・経理・総務勤務経験	ビジネスマンとして必要な経済や社会情勢の流れを見る目を養う。	経済社会の血液であるお金に関する知識を様々な分野から学習する。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	初級商業簿記基礎	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の重要性や基本的な知識を学び、経理を学ぶ上での基本、企業や医療機関などの経理担当者に必須の知識を短期間で身につける。簿記に対する適性も判断する。 【概要】 小規模企業を前提として、日々の取引の処理や決算手続きを学び簿記の基本を身に付け、株式会社会計の基礎を学習する。				
到達目標	簿記検定３級に合格するための最低限の能力を習得する。				

授業内容	回	回
	01：簿記の目的 02：貸借対照表と損益計算書の作成 03：取引、仕訳、勘定口座への記入方法① 04：取引、仕訳、勘定口座への記入方法② 05：商品売買Ⅰ① 06：商品売買Ⅰ② 07：商品売買Ⅱ① 08：商品売買Ⅱ② 09：現金及び預金① 10：現金及び預金② 11：電子記録債権・債務 12：有形固定資産 13：その他の債権及び債務① 14：その他の債権及び債務② 15：その他の債権及び債務③	16：消費税① 17：消費税② 18：株式会社の資本① 19：株式会社の資本② 20：株式会社の資本③ 21：決算整理（売上原価算定）① 22：決算整理（売上原価算定）② 23：精算表の作成 24：英米式決算法① 25：英米式決算法② 26：決算整理（貸倒引当金） 27：決算整理（減価償却） 28：その他の決算整理① 29：その他の決算整理② 30：その他の決算整理③

テキスト 参考文献	大原出版「日商簿記3級課程　商業簿記　テキスト」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	学習を終了した範囲の練習問題や補助問題を解いておき、定期試験に備えること。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	中級商業簿記	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	新村優希 大野圭一郎
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 初級学習に含まれない株式会社に関する事柄や、様々な取引に対する会計処理・計算の技術を習得する。				
到達目標	簿記検定２級に合格する能力を習得する。				

授業内容			
	回	回	
	01：総論	16：リース会計	
	02：現金預金	17：無形固定資産	
	03：債権債務Ⅰ	18：投資その他の資産	
	04：債権債務Ⅱ	19：債務保証等	
	05：棚卸資産	20：引当金	
	06：有価証券Ⅰ	21：引当金	
	07：有価証券Ⅰ	22：収益と費用	
	08：有価証券Ⅱ	23：収益と費用	
	09：有価証券Ⅱ	24：為替換算会計	
	10：有形固定資産	25：為替換算会計	
	11：有形固定資産	26：株式会社	
	12：減価償却	27：株式会社	
	13：減価償却	28：企業結合・税金	
	14：圧縮記帳	29：企業結合・税金	
	15：有形固定資産の売却等	30：企業結合・税金	

テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記2級課程商業簿記　「テキスト」「問題集」「解答集」
成績基準	取り組み姿勢と定期試験の結果により評価し、80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	中級商業簿記	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	新村優希 大野圭一郎
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 初級学習に含まれない株式会社に関する事柄や、様々な取引に対する会計処理・計算の技術を習得する。				
到達目標	簿記検定２級に合格する能力を習得する。				

授業内容	回	回
	31：決算 32：決算 33：決算 34：本支店会計 35：本支店会計 36：連結会計Ⅰ 37：連結会計Ⅰ 38：連結会計Ⅰ 39：連結会計Ⅱ 40：連結会計Ⅱ 41：連結会計Ⅱ 42：連結会計Ⅲ 43：連結会計Ⅲ 44：連結会計Ⅲ 45：連結会計Ⅲ	

テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記2級課程商業簿記　「テキスト」「問題集」「解答集」
成績基準	取り組み姿勢と定期試験の結果により評価し、80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：公認会計士税理士科	
授業科目	中級工業簿記	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎 新村優希
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 製造業が行う原価計算の基本とその会計処理について学習する。				
到達目標	簿記検定２級に合格する能力を習得する。				

授業内容	回	回
	01：原価計算・工業簿記の記帳体系 02：材料費会計 03：労務費会計 04：経費会計 05：製造間接費会計 06：製造間接費会計 07：製造間接費会計 08：製造間接費会計 09：製造間接費会計 10：工場会計の独立 11：工場会計の独立 12：工場会計の独立 13：単純個別原価計算 14：単純個別原価計算 15：単純個別原価計算	16：部門別計算 17：部門別計算 18：部門別計算 19：部門別計算 20：工企業の財務諸表 21：工企業の財務諸表 22：工企業の財務諸表 23：工企業の財務諸表 24：工企業の財務諸表 25：総合原価計算 26：総合原価計算 27：総合原価計算 28：総合原価計算 29：総合原価計算 30：標準原価計算

テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記2級課程工業簿記　「テキスト」「問題集」「解答集」
成績基準	取り組み姿勢と定期試験の結果により評価し、80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	中級工業簿記	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎 新村優希
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 製造業が行う原価計算の基本とその会計処理について学習する。				
到達目標	簿記検定２級に合格する能力を習得する。				

授業内容	回	回
	31：標準原価計算 32：標準原価計算 33：標準原価計算 34：標準原価計算 35：標準原価計算 36：短期利益計画 37：短期利益計画 38：短期利益計画 39：短期利益計画 40：短期利益計画 41：直接原価計算 42：直接原価計算 43：直接原価計算 44：直接原価計算 45：直接原価計算	

テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記2級課程工業簿記　「テキスト」「問題集」「解答集」
成績基準	取り組み姿勢と定期試験の結果により評価し、80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	中級簿記演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	新村優希 大野圭一郎
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 中級商業簿記Ｉと中級工業簿記Ｉで学習した内容を前提に、本試験形式の問題を使用して問題の解答に取り組み、解説で内容の定着を図る。				
到達目標	簿記検定２級に合格できる能力を身に付ける。				

授業内容	回	回
	01：本試験形式問題演習 02：本試験形式問題演習 03：本試験形式問題演習 04：本試験形式問題演習 05：本試験形式問題演習 06：本試験形式問題演習 07：本試験形式問題演習 08：本試験形式問題演習 09：本試験形式問題演習 10：本試験形式問題演習 11：解説・解き直し・類似問題解答 12：解説・解き直し・類似問題解答 13：解説・解き直し・類似問題解答 14：解説・解き直し・類似問題解答 15：解説・解き直し・類似問題解答	16：解説・解き直し・類似問題解答 17：解説・解き直し・類似問題解答 18：解説・解き直し・類似問題解答 19：解説・解き直し・類似問題解答 20：解説・解き直し・類似問題解答

テキスト 参考文献	大原出版「日商簿記2級課程商業・工業簿記テキスト」「同・直前答案練習」「同・過去問題集」
成績基準	取り組み姿勢と定期試験の結果により評価し、80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の内　容	正解できなかった問題についてその理由を探ると共に、類似の問題を解答することで正しい知識や計算技術の定着を図る。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級商簿会計Ⅰ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	75	単位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身に付ける。 【概要】 企業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級の最短合格のための学習をします。中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要する。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得。				

授業内容			
	回	回	
	01：有価証券、デリバティブ取引	16：ファイナンスリース取引	
	02：有価証券、デリバティブ取引	17：オペレーティングリース取引	
	03：有価証券、デリバティブ取引	18：オペレーティングリース取引	
	04：有価証券、デリバティブ取引	19：オペレーティングリース取引	
	05：ヘッジ会計、有形固定資産	20：研究開発費、ソフトウェア	
	06：ヘッジ会計、有形固定資産	21：研究開発費、ソフトウェア	
	07：ヘッジ会計、有形固定資産	22：研究開発費、ソフトウェア	
	08：ヘッジ会計、有形固定資産	23：研究開発費、ソフトウェア	
	09：割引現在価値、リース会計（基礎）	24：固定資産の減損会計、繰延資産	
	10：割引現在価値、リース会計（基礎）	25：固定資産の減損会計、繰延資産	
	11：割引現在価値、リース会計（基礎）	26：固定資産の減損会計、繰延資産	
	12：割引現在価値、リース会計（基礎）	27：固定資産の減損会計、繰延資産	
	13：ファイナンスリース取引	28：社債、引当金	
	14：ファイナンスリース取引	29：社債、引当金	
	15：ファイナンスリース取引	30：社債、引当金	

テキスト 参考文献	大原出版株式会社 1級商簿会計テキスト・問題集・解答集
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級商簿会計Ⅰ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	75	単位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身に付ける。 【概要】 業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級の最短合格のための学習をします。中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要する。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得。				

授業内容			
	回	回	
	31：退職給付会計、資産除去債務	46：外貨建取引、特殊商品売買	
	32：退職給付会計、資産除去債務	47：外貨建取引、特殊商品売買	
	33：退職給付会計、資産除去債務	48：外貨建取引、特殊商品売買	
	34：退職給付会計、資産除去債務	49：資本連結、成果連結	
	35：退職給付会計、資産除去債務	50：資本連結、成果連結	
	36：退職給付会計、資産除去債務	51：資本連結、成果連結	
	37：純資産会計、税効果会計	52：資本連結、成果連結	
	38：純資産会計、税効果会計	53：資本連結、成果連結	
	39：純資産会計、税効果会計	54：持分法、連結税効果会計	
	40：純資産会計、税効果会計	55：持分法、連結税効果会計	
	41：外貨建取引、特殊商品売買	56：持分法、連結税効果会計	
	42：外貨建取引、特殊商品売買	57：持分法、連結税効果会計	
	43：外貨建取引、特殊商品売買	58：包括利益、在外子会社	
	44：外貨建取引、特殊商品売買	59：包括利益、在外子会社	
	45：外貨建取引、特殊商品売買	60：包括利益、在外子会社	

テキスト 参考文献	大原出版株式会社 1級商簿会計テキスト・問題集・解答集
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級商簿会計Ⅰ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	75	単位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身に付ける。 【概要】 業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級の最短合格のための学習をします。中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要する。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得。				
授業内容	回 61：企業結合会計、事業分離会計 62：企業結合会計、事業分離会計 63：企業結合会計、事業分離会計 64：企業結合会計、事業分離会計 65：本支店会計、キャッシュフロー計算書 66：本支店会計、キャッシュフロー計算書 67：本支店会計、キャッシュフロー計算書 68：本支店会計、キャッシュフロー計算書 69：連結キャッシュフロー計算書 70：連結キャッシュフロー計算書 71：連結キャッシュフロー計算書 72：連結キャッシュフロー計算書 73：会計上の変更及び誤謬の訂正 74：会計上の変更及び誤謬の訂正 75：会計上の変更及び誤謬の訂正		回		
テキスト 参考文献	大原出版株式会社 1級商簿会計テキスト・問題集・解答集				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級商簿会計Ⅱ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を身に着けるための学習の前半部分である。 【概要】 中級までに学習した内容をより深く学習するとともに、新たに企業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級を合格するための学習である。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得。				

授業内容	回	回
	01：全経簿記上級検定対策 02：全経簿記上級検定対策 03：全経簿記上級検定対策 04：全経簿記上級検定対策 05：全経簿記上級検定対策 06：全経簿記上級検定対策 07：全経簿記上級検定対策 08：全経簿記上級検定対策 09：全経簿記上級検定対策 10：全経簿記上級検定対策 11：全経簿記上級検定対策 12：全経簿記上級検定対策 13：全経簿記上級検定対策 14：全経簿記上級検定対策 15：全経簿記上級検定対策	

テキスト 参考文献	大原出版株式会社 1級商簿会計テキスト・問題集・解答集
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：公認会計士税理士科	
授業科目	上級工簿原計Ⅰ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡井俊文
授業回数	75	単位	5	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表等規則や企業会計に関する法規を理解し、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身につけます。 【概要】 中級までに学習した内容をより広く深く学習学習します。短期間での日商簿記1級等の合格を目指すため、受講にあたり中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要します。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得します。				

授業内容	回	回
	01：原価計算総論、費目別計算 02：原価計算総論、費目別計算 03：原価計算総論、費目別計算 04：原価計算総論、費目別計算 05：原価計算総論、費目別計算 06：部門別計算 07：部門別計算 08：部門別計算 09：部門別計算 10：部門別計算 11：個別原価計算 12：個別原価計算 13：個別原価計算 14：個別原価計算 15：個別原価計算	16：総合原価計算１ 17：総合原価計算１ 18：総合原価計算１ 19：総合原価計算１ 20：総合原価計算１ 21：総合原価計算２ 22：総合原価計算２ 23：総合原価計算２ 24：総合原価計算２ 25：総合原価計算２ 26：標準原価計算 27：標準原価計算 28：標準原価計算 29：標準原価計算 30：標準原価計算

テキスト 参考文献	大原出版株式会社 日商簿記1級課程　工業簿記・原価計算　テキスト
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、８０点以上を優、７０点以上を良、６０点以上を可、５９点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：公認会計士税理士科	
授業科目	上級工簿原計Ⅰ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡井俊文
授業回数	75	単位	5	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表等規則や企業会計に関する法規を理解し、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身につけます。 【概要】 中級までに学習した内容をより広く深く学習学習します。短期間での日商簿記1級等の合格を目指すため、受講にあたり中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要します。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得します。				

授業内容	回	回
	31：短期利益計画 32：短期利益計画 33：短期利益計画 34：短期利益計画 35：短期利益計画 36：直接原価計算 37：直接原価計算 38：直接原価計算 39：直接原価計算 40：直接原価計算 41：予算編成 42：予算編成 43：予算編成 44：予算編成 45：予算編成	46：予算統制 47：予算統制 48：予算統制 49：予算統制 50：予算統制 51：業務的意思決定１ 52：業務的意思決定１ 53：業務的意思決定１ 54：業務的意思決定１ 55：業務的意思決定１ 56：業務的意思決定２ 57：業務的意思決定２ 58：業務的意思決定２ 59：業務的意思決定２ 60：業務的意思決定２

テキスト 参考文献	大原出版株式会社 日商簿記1級課程　工業簿記・原価計算　テキスト
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、８０点以上を優、７０点以上を良、６０点以上を可、５９点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級工簿原計Ⅰ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡井俊文
授業回数	75	単位	5	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表等規則や企業会計に関する法規を理解し、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身につけます。 【概要】 中級までに学習した内容をより広く深く学習学習します。短期間での日商簿記1級等の合格を目指すため、受講にあたり中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要します。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得します。				
授業内容	回 61：事業部制 62：事業部制 63：事業部制 64：事業部制 65：事業部制 66：戦略的原価計算 67：戦略的原価計算 68：戦略的原価計算 69：戦略的原価計算 70：戦略的原価計算 71：総合問題対策 72：総合問題対策 73：総合問題対策 74：総合問題対策 75：総合問題対策	回			
テキスト 参考文献	大原出版株式会社 日商簿記1級課程　工業簿記・原価計算　テキスト				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、８０点以上を優、７０点以上を良、６０点以上を可、５９点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級工簿原計Ⅱ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡井俊文
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表等規則や企業会計に関する法規を理解し、経営管理や経営分析ができる能力を身に着ける。 【概要】 上級工簿原計Ⅰで学習した内容を前提に、本試験形式の問題を使用して問題の解答に取り組み、解説で内容の定着を図る。				
到達目標	全経簿記検定1級に合格する能力を習得。				
授業内容	回 01：全経簿記上級検定対策 02：全経簿記上級検定対策 03：全経簿記上級検定対策 04：全経簿記上級検定対策 05：全経簿記上級検定対策 06：全経簿記上級検定対策 07：全経簿記上級検定対策 08：全経簿記上級検定対策 09：全経簿記上級検定対策 10：全経簿記上級検定対策 11：全経簿記上級検定対策 12：全経簿記上級検定対策 13：全経簿記上級検定対策 14：全経簿記上級検定対策 15：全経簿記上級検定対策	回			
テキスト 参考文献	大原出版株式会社 全経簿記上級　工業簿記・原価計算対策テキスト				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、８０点以上を優、７０点以上を良、６０点以上を可、５９点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級簿記演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡井俊文 松永年史
授業回数	30	単位	2	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 上級工簿原計Ｉで学習した内容を前提に、本試験形式の問題を使用して問題の解答に取り組み、解説で内容の定着を図る。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得。				

授業内容	回	回
	01：第１回日商簿記１級対策模試 02：第１回日商簿記１級対策模試 03：第１回日商簿記１級対策模試 04：第１回日商簿記１級対策模試 05：第１回日商簿記１級対策模試 06：第１回日商簿記１級対策模試 07：第１回日商簿記１級対策模試 08：第１回日商簿記１級対策模試 09：第２回日商簿記１級対策模試 10：第２回日商簿記１級対策模試 11：第２回日商簿記１級対策模試 12：第２回日商簿記１級対策模試 13：第２回日商簿記１級対策模試 14：第２回日商簿記１級対策模試 15：第２回日商簿記１級対策模試	16：第２回日商簿記１級対策模試 17：第３回日商簿記１級対策模試 18：第３回日商簿記１級対策模試 19：第３回日商簿記１級対策模試 20：第３回日商簿記１級対策模試 21：第３回日商簿記１級対策模試 22：第３回日商簿記１級対策模試 23：第３回日商簿記１級対策模試 24：第３回日商簿記１級対策模試 25：第４回日商簿記１級対策模試 26：第４回日商簿記１級対策模試 27：第４回日商簿記１級対策模試 28：第４回日商簿記１級対策模試 29：第４回日商簿記１級対策模試 30：第４回日商簿記１級対策模試

テキスト 参考文献	大原出版株式会社 日商簿記1級対策模擬試験
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、８０点以上を優、７０点以上を良、６０点以上を可、５９点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級簿記演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡井俊文 松永年史
授業回数	30	単位	2	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 上級工簿原計Ｉで学習した内容を前提に、本試験形式の問題を使用して問題の解答に取り組み、解説で内容の定着を図る。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得。				

授業内容	回	回
	31：第４回日商簿記１級対策模試 32：第４回日商簿記１級対策模試 33：第５回日商簿記１級対策模試 34：第５回日商簿記１級対策模試 35：第５回日商簿記１級対策模試 36：第５回日商簿記１級対策模試 37：第５回日商簿記１級対策模試 38：第５回日商簿記１級対策模試 39：第５回日商簿記１級対策模試 40：第５回日商簿記１級対策模試 41：第６回日商簿記１級対策模試 42：第６回日商簿記１級対策模試 43：第６回日商簿記１級対策模試 44：第６回日商簿記１級対策模試 45：第６回日商簿記１級対策模試	46：第６回日商簿記１級対策模試 47：第６回日商簿記１級対策模試 48：第６回日商簿記１級対策模試 49：日商簿記１級対策公開模試 50：日商簿記１級対策公開模試 51：日商簿記１級対策公開模試 52：日商簿記１級対策公開模試 53：日商簿記１級対策公開模試 54：日商簿記１級対策公開模試 55：日商簿記１級対策公開模試 56：日商簿記１級対策公開模試 57：日商簿記１級対策最終確認 58：日商簿記１級対策最終確認 59：日商簿記１級対策最終確認 60：日商簿記１級対策最終確認

テキスト 参考文献	大原出版株式会社 日商簿記1級対策模擬試験
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、８０点以上を優、７０点以上を良、６０点以上を可、５９点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：公認会計士税理士科	
授業科目	PC入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎 新村優希
授業回数	8	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業実務に正確かつ迅速に対応できるよう、表計算ソフトの基本的な操作スキルを習得する。 【概要】 ビジネスアプリケーションソフトを中心にオペレーティングおよび表計算技術を習得する。				
到達目標	Excelの基本的な機能を活用し、Exce文書処理技能検定3級を受験できる水準の能力を習得する。				
授業内容	回 01：ガイダンス～Windowsの基礎 02：アプリの基本操作～フォルダの作成・削除 03：Excelの概要～画面構成 04：データ入力の基礎 05：基本的なワークシートの編集と書式設定 06：グラフの作成と設定の変更 07：実技練習問題 08：実技模擬問題		回		
テキスト 参考文献	実教出版「30時間でマスターExcel」 サーティファイ「Excel表計算処理技能認定試験 問題集」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	就職対策（共通）	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	早川依里 新村優希
授業回数	8	単位	1	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 職場の基礎力を養うための基礎知識や考え方について理解・習得させ、自分流計画シートを活用した自己管理力やグループワーク等を通じた協調行動力を養う。 【概要】 職場の基礎力を養うための基礎知識や考え方について説明するとともに、自分流計画シートの作成指導やグループワークを取り入れた授業を行う。				
到達目標	自分流計画シートを活用して基本的な自己管理力を高めるとともに、成果を出すための集団の一員として必要な協調性のある行動を行うことができる。				
授業内容	回 01：職場検定ガイダンス 02：職場で通用する身だしなみと立ち居振舞い 03：スケジュール管理の重要性と方法 04：自分流計画シートの作成 05：手帳記入と自己評価 06：組織としての協調性の重要性 07：クラス目標の話し合いと決定 08：組織の基礎知識	回			
テキスト 参考文献	大原学園「トライアングル手帳」、大原学園「協調行動力テキスト」				
成績基準	取組姿勢、自己管理力検定と協調行動力検定の結果を総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	自分流計画シートの作成とクラス目標について考えておく。また、職場検定に関する知識を復習しておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：公認会計士税理士科	
授業科目	就職対策Ⅰ（会税）	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	8	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 学生にとっての幸せな就職を実現させることを最終目的とし、そのために必要な基本的就職支援を行うこと。 【概要】 就職後に必要となる基本的なIT活用力や海外行動力を高めるための講義を行うとともに、グループワークを取り入れたコミュニケーション能力向上を目指す。				
到達目標	社会人として最低限必要なIT活用力や海外行動力を身に付けるとともに、社会で通用するコミュニケーション能力が一定程度まで向上すること。				
授業内容	回 01：基本的なIT活用力の向上研修 02：基本的な海外行動力向上研修① 03：コミュニケーション能力向上研修（富士宮①） 04：コミュニケーション能力向上研修（富士宮②） 05：コミュニケーション能力向上研修（富士宮③） 06：コミュニケーション能力向上研修（富士宮④） 07：内定した先輩からの就活情報収集① 08：内定した先輩からの就活情報収集②	回			
テキスト 参考文献	大原学園「IT活用力テキスト」「海外行動力テキスト」「就職ガイドブック」				
成績基準	取組姿勢や職場検定結果、レポートにより総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	職場検定対策の知識を復習して職場検定試験に備えるとともに、授業内の各研修内容に基づいたテーマについて考察しておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：公認会計士税理士科	
授業科目	就職対策Ⅱ（会税）	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位	2	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動を円滑にかつ効率的に進めることを目的とする。また人生設計の礎をしっかり根付かせることで、自分で考え、行動し、決断できる学生の育成を目指す。 【概要】 将来の職業意識を高め、就職試験対策として必要な基礎知識習得や自己分析等の受験準備指導を、集団形式・個別形式を交えて行う。				
到達目標	社会に認められる（内定獲得）ことで、学生から社会人（子供から大人）への精神的な成長を実感させる。				
授業内容	回 01：就職に対する心構え 02：自己管理と協調行動に基づく実践 03：グループワーク（他者との関わり方①） 04：グループワーク（他者との関わり方Ⅱ） 05：報告連絡相談の必要性と重要性 06：報告連絡相談の必要性と重要性 07：就職活動における身だしなみ 08：就職活動における身だしなみ 09：就職活動における身だしなみ 10：就職活動における身だしなみ 11：仕事選びと企業選びの基礎知識 12：仕事選びと企業選びの基礎知識 13：仕事選びと企業選びの基礎知識 14：自己分析と自己PR文の作成 15：自己分析と自己PR文の作成		回		
テキスト 参考文献	大原学園「就職ガイドブック」「就職ノートブック」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、必要に応じて授業内容に基づいた習熟度合いの測定を行い、次の通り総合評価する。総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。				
準備学習の 内　容	放課後における自主的面接練習、履歴書を含む就職関連書類の早期作成を意識し、自己計画・自己管理の元、取り組む。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	10	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 01：現金預金 02：債権債務 03：債権債務 04：商品売買 05：商品売買 06：固定資産 07：固定資産 08：引当金 09：引当金 10：引当金		回		
テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：有価証券 02：有価証券 03：税金 04：ソフトウェア 05：ソフトウェア 06：税効果会計 07：税効果会計 08：割引現在価値 09：減損会計 10：減損会計 11：リース会計 12：リース会計 13：外貨建会計 14：外貨建会計 15：資産除去債務	16：試用販売 17：試用販売 18：圧縮記帳 19：圧縮記帳 20：割賦販売 21：割賦販売 22：本支店会計 23：本支店会計 24：未着品販売 25：未着品販売 26：製造業会計 27：製造業会計 28：キャッシュ・フロー計算書 29：キャッシュ・フロー計算書 30：キャッシュ・フロー計算書

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：組織再編会計 32：組織再編会計 33：ストック・オプション 34：ストック・オプション 35：会計上の変更等 36：会計上の変更等 37：連結会計 38：連結会計 39：連結会計 40：連結会計 41：委託販売 42：受託販売 43：建設業会計 44：建設業会計 45：収益認識会計	46：デリバティブ取引 47：金利スワップ 48：為替予約 49：為替予約 50：先物取引 51：先物取引 52：伝票会計 53：伝票会計 54：帳簿組織 55：帳簿組織 56：社債 57：社債 58：組織再編会計 59：組織再編会計 60：組織再編会計

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	50	単位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：有価証券 02：有価証券 03：有価証券 04：固定資産 05：固定資産 06：固定資産 07：連結会計 08：連結会計 09：連結会計 10：連結会計 11：連結会計 12：連結会計 13：連結会計 14：連結会計 15：連結会計	16：リース会計 17：リース会計 18：リース会計 19：リース会計 20：リース会計 21：資産除去債務 22：資産除去債務 23：資産除去債務 24：資産除去債務 25：資産除去債務 26：組織再編会計 27：組織再編会計 28：組織再編会計 29：組織再編会計 30：組織再編会計

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	50	単位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：分配可能額 32：分配可能額 33：分配可能額 34：帳簿組織 35：帳簿組織 36：帳簿組織 37：外貨建会計 38：外貨建会計 39：在外支店 40：在外支店 41：在外支店 42：在外子会社 43：在外子会社 44：在外子会社 45：在外子会社	46：ゴルフ会員権 47：ゴルフ会員権 48：純資産会計 49：純資産会計 50：純資産会計

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：実力判定公開模擬試験 02：実力判定公開模擬試験 03：実力判定公開模擬試験 04：実力判定公開模擬試験 05：実力判定公開模擬試験 06：実力判定公開模擬試験 07：実力判定公開模擬試験 08：実力判定公開模擬試験 09：実力判定公開模擬試験 10：実力判定公開模擬試験 11：実力判定公開模擬試験 12：実力判定公開模擬試験 13：実力判定公開模擬試験 14：実力判定公開模擬試験 15：実力判定公開模擬試験	16：過去問題演習 17：過去問題演習 18：過去問題演習 19：過去問題演習 20：過去問題演習 21：過去問題演習 22：過去問題演習 23：過去問題演習 24：過去問題演習 25：過去問題演習 26：過去問題演習 27：過去問題演習 28：過去問題演習 29：過去問題演習 30：過去問題演習

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：直前対策模擬試験 32：直前対策模擬試験 33：直前対策模擬試験 34：直前対策模擬試験 35：直前対策模擬試験 36：直前対策模擬試験 37：直前対策模擬試験 38：直前対策模擬試験 39：直前対策模擬試験 40：直前対策模擬試験 41：直前対策模擬試験 42：直前対策模擬試験 43：直前対策模擬試験 44：直前対策模擬試験 45：直前対策模擬試験	46：プレ模擬試験 47：プレ模擬試験 48：プレ模擬試験 49：プレ模擬試験 50：プレ模擬試験 51：プレ模擬試験 52：プレ模擬試験 53：プレ模擬試験 54：プレ模擬試験 55：プレ模擬試験 56：プレ模擬試験 57：プレ模擬試験 58：プレ模擬試験 59：プレ模擬試験 60：プレ模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：公認会計士税理士科	
授業科目	簿記論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	
回	回
61：全国統一公開模擬試験	76：直前予想公開模擬試験
62：全国統一公開模擬試験	77：直前予想公開模擬試験
63：全国統一公開模擬試験	78：直前予想公開模擬試験
64：全国統一公開模擬試験	79：直前予想公開模擬試験
65：全国統一公開模擬試験	80：直前予想公開模擬試験
66：全国統一公開模擬試験	81：直前予想公開模擬試験
67：全国統一公開模擬試験	82：直前予想公開模擬試験
68：全国統一公開模擬試験	83：直前予想公開模擬試験
69：全国統一公開模擬試験	84：直前予想公開模擬試験
70：全国統一公開模擬試験	85：直前予想公開模擬試験
71：全国統一公開模擬試験	86：直前予想公開模擬試験
72：全国統一公開模擬試験	87：直前予想公開模擬試験
73：全国統一公開模擬試験	88：直前予想公開模擬試験
74：全国統一公開模擬試験	89：直前予想公開模擬試験
75：全国統一公開模擬試験	90：直前予想公開模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 91：総復習 92：総復習 93：総復習 94：総復習 95：総復習 96：総復習 97：総復習 98：総復習 99：総復習 100：総復習	回			
テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務諸表論入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	10	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 01：損益計算書 02：現金預金 03：債権債務 04：個別注記表 05：見越・繰延 06：棚卸資産 07：手形割引 08：財務諸表の基礎概念 09：売上・仕入割引 10：売上・仕入割引		回		
テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務諸表論A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：貸倒損失 02：関係会社概念 03：企業会計原則 04：退職給付会計 05：株主資本 06：社債 07：有価証券 08：割引現在価値 09：資産除去債務 10：外貨建会計 11：損益計算書の本質と構造 12：現金主義会計と発生主義会計 13：確認テスト 14：当座借越 15：ソフトウェア	16：金銭債権債務 17：期間損益計算 18：費用収益対応の原則 19：資本循環と財務諸表 20：尊敬計算書総論 21：収益認識 22：静態論と動態論 23：貸借対照表の表示 24：固定資産の減損会計 25：固定資産の減損会計 26：貸借対照表の表示原則 27：貸借対照表の表示原則 28：貸借対照表の本質 29：貸借対照表の本質 30：貸借対照表の本質

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務諸表論A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：償却原価法 32：償却原価法 33：繰延資産 34：リース会計 35：投資信託 36：ゴルフ会員権 37：概念フレームワーク 38：資産評価 39：退職給付会計 40：退職給付会計 41：工事契約 42：工事契約 43：製造業会計 44：製造業会計 45：金融資産	46：繰延資産 47：金融商品 48：外貨建会計 49：デリバティブ取引 50：ヘッジ会計 51：新株予約権 52：退職給付会計 53：研究開発費 54：売価還元法 55：組織再編会計 56：資産除去債務 57：分配可能額 58：キャッシュ・フロー計算書 59：純資産会計 60：純資産会計

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務諸表論B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	50	単位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：株主資本等会計 02：株主資本等会計 03：会計上の変更等 04：会計上の変更等 05：キャッシュ・フロー計算書 06：キャッシュ・フロー計算書 07：企業結合会計 08：企業結合会計 09：企業結合会計 10：企業結合会計 11：連結会計 12：連結会計 13：連結会計 14：連結会計 15：連結会計	16：事業分離会計 17：事業分離会計 18：事業分離会計 19：包括利益 20：包括利益 21：包括利益 22：四半期財務諸表 23：四半期財務諸表 24：四半期財務諸表 25：新株予約権 26：新株予約権 27：新株予約権 28：新株予約権付社債 29：新株予約権付社債 30：新株予約権付社債

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務諸表論B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	50	単位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：ストック・オプション 32：ストック・オプション 33：税効果会計 34：税効果会計 35：税効果会計 36：財務諸表等規則 37：財務諸表等規則 38：資産除去債務に係る税効果会計 39：資産除去債務に係る税効果会計 40：株式交換 41：株式交換 42：子会社を吸収合併 43：子会社を吸収合併 44：連結会計 45：連結会計	46：理論演習問題 47：理論演習問題 48：理論演習問題 49：理論演習問題 50：理論演習問題

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務諸表論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：組織再編会計 02：組織再編会計 03：組織再編会計 04：組織再編会計 05：組織再編会計 06：リース会計 07：リース会計 08：リース会計 09：リース会計 10：リース会計 11：分配可能額 12：分配可能額 13：連結会計 14：連結会計 15：連結会計	16：連結会計 17：連結会計 18：連結会計 19：連結会計 20：連結会計 21：実力判定公開模擬試験 22：実力判定公開模擬試験 23：実力判定公開模擬試験 24：実力判定公開模擬試験 25：実力判定公開模擬試験 26：実力判定公開模擬試験 27：実力判定公開模擬試験 28：実力判定公開模擬試験 29：実力判定公開模擬試験 30：実力判定公開模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務諸表論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：実力判定公開模擬試験 32：実力判定公開模擬試験 33：過去問題演習 34：過去問題演習 35：過去問題演習 36：過去問題演習 37：過去問題演習 38：過去問題演習 39：過去問題演習 40：過去問題演習 41：過去問題演習 42：過去問題演習 43：過去問題演習 44：過去問題演習 45：過去問題演習	46：過去問題演習 47：過去問題演習 48：過去問題演習 49：過去問題演習 50：過去問題演習 51：直前対策模擬試験 52：直前対策模擬試験 53：直前対策模擬試験 54：直前対策模擬試験 55：直前対策模擬試験 56：直前対策模擬試験 57：直前対策模擬試験 58：直前対策模擬試験 59：直前対策模擬試験 60：直前対策模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務諸表論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	61：直前対策模擬試験 62：直前対策模擬試験 63：直前対策模擬試験 64：プレ模擬試験 65：プレ模擬試験 66：プレ模擬試験 67：プレ模擬試験 68：全国統一公開模擬試験 69：全国統一公開模擬試験 70：全国統一公開模擬試験 71：全国統一公開模擬試験 72：全国統一公開模擬試験 73：全国統一公開模擬試験 74：全国統一公開模擬試験 75：全国統一公開模擬試験	76：全国統一公開模擬試験 77：全国統一公開模擬試験 78：直前予想公開模擬試験 79：直前予想公開模擬試験 80：直前予想公開模擬試験 81：直前予想公開模擬試験 82：直前予想公開模擬試験 83：直前予想公開模擬試験 84：直前予想公開模擬試験 85：直前予想公開模擬試験 86：直前予想公開模擬試験 87：直前予想公開模擬試験 88：直前予想公開模擬試験 89：直前予想公開模擬試験 90：直前予想公開模擬試験
テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること	

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務諸表論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 91：総復習 92：総復習 93：総復習 94：総復習 95：総復習 96：総復習 97：総復習 98：総復習 99：総復習 100：総復習	回			
テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	消費税法入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	榊原義久
授業回数	10	単位	1	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 01：消費税法の概要 02：消費税法の概要 03：課税の対象（基礎） 04：課税の対象（基礎） 05：非課税 06：非課税 07：輸出免税資産の譲渡等の時期 08：輸出免税資産の譲渡等の時期 09：輸出免税資産の譲渡等の時期 10：輸出免税資産の譲渡等の時期	回			
テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	消費税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	榊原義久
授業回数	40	単位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：控除対象仕入税額 02：控除対象仕入税額 03：控除対象仕入税額 04：控除対象仕入税額 05：控除対象仕入税額 06：控除対象仕入税額 07：売上に係る対価の返還 08：売上に係る対価の返還 09：貸倒れが生じた場合 10：貸倒れが生じた場合 11：課税仕入等の時期 12：課税仕入等の時期 13：課税売上割合 14：課税売上割合 15：課税売上割合	16：課税期間における課税売上高 17：課税期間における課税売上高 18：控除対象仕入税額 19：控除対象仕入税額 20：控除対象仕入税額 21：控除対象仕入税額 22：課税売上割合に準ずる割合 23：課税売上割合に準ずる割合 24：確認テスト 25：仕入に係る対価の返還等 26：仕入に係る対価の返還等 27：納税義務の免除 28：納税義務の免除 29：国境を越えた役務の提供 30：国境を越えた役務の提供

テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	消費税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	榊原義久
授業回数	40	単位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 31：中間申告に係る納付税額の計算 32：中間申告に係る納付税額の計算 33：課税仕入等の分類 34：課税仕入等の分類 35：非課税資産の輸出等 36：非課税資産の輸出等 37：調整対象固定資産に係る仕入税額 38：調整対象固定資産に係る仕入税額 39：調整対象固定資産に係る仕入税額 40：調整対象固定資産に係る仕入税額		回		
テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	消費税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	榊原義久
授業回数	40	単位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：特定期間における課税売上高 02：特定期間における課税売上高 03：相続・合併があった場合の免除特例 04：相続・合併があった場合の免除特例 05：相続・合併があった場合の免除特例 06：相続・合併があった場合の免除特例 07：相続・合併があった場合の免除特例 08：課税標準 09：課税標準 10：課税標準 11：確認テスト 12：会社分割があった場合の免除特例 13：会社分割があった場合の免除特例 14：会社分割があった場合の免除特例 15：会社分割があった場合の免除特例	16：会社分割があった場合の免除特例 17：新設法人の納税義務の免除 18：新設法人の納税義務の免除 19：新設法人の納税義務の免除 20：特定新規設立法人の納税義務の免除 21：特定新規設立法人の納税義務の免除 22：特定新規設立法人の納税義務の免除 23：特定新規設立法人の納税義務の免除 24：特定新規設立法人の納税義務の免除 25：合併があった場合の中間申告納付税額 26：合併があった場合の中間申告納付税額 27：合併があった場合の中間申告納付税額 28：棚卸資産に係る消費税額の調整 29：棚卸資産に係る消費税額の調整 30：棚卸資産に係る消費税額の調整

テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	消費税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	榊原義久
授業回数	40	単位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 31：簡易課税制度 32：簡易課税制度 33：高額特定資産を取得した場合の特例 34：高額特定資産を取得した場合の特例 35：資産の譲渡等の時期 36：リース取引 37：国等に対する特例経過措置 38：国等に対する特例経過措置 39：調整対象固定資産に係る仕入税額 40：調整対象固定資産に係る仕入税額		回		
テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	法人税法入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	山下翔
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：納税義務者 02：納税義務者 03：納税義務者 04：会社計算と税務計算 05：会社計算と税務計算 06：会社計算と税務計算 07：会社計算と税務計算 08：受取配当金の益金不算入額 09：受取配当金の益金不算入額 10：受取配当金の益金不算入額 11：受取配当金の益金不算入額 12：受取配当金の益金不算入額 13：交際費等の損金不算入額 14：交際費等の損金不算入額 15：交際費等の損金不算入額	16：減価償却 17：減価償却 18：減価償却 19：減価償却 20：減価償却

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	法人税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：寄附金の損金不算入額 02：寄附金の損金不算入額 03：寄附金の損金不算入額 04：租税公課及び納税充当金 05：租税公課及び納税充当金 06：租税公課及び納税充当金 07：租税公課及び納税充当金 08：特別償却 09：特別償却 10：特別償却 11：特別償却 12：別表一（一）の作成 13：別表一（一）の作成 14：別表一（一）の作成 15：別表一（一）の作成	16：別表一（一）の作成 17：特別控除 18：特別控除 19：特別控除 20：確認テスト 21：欠損金 22：欠損金 23：欠損金 24：欠損金 25：欠損金 26：欠損金 27：外貨建取引 28：外貨建取引 29：外貨建取引 30：外貨建取引

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	法人税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：外貨建取引 32：特別償却準備金 33：特別償却準備金 34：特別償却準備金 35：有価証券 36：有価証券 37：有価証券 38：有価証券 39：有価証券 40：有価証券 41：有価証券 42：みなし配当 43：みなし配当 44：みなし配当 45：みなし配当	46：みなし配当 47：貸倒引当金 48：貸倒引当金 49：貸倒引当金 50：貸倒引当金 51：貸倒引当金 52：貸倒引当金 53：圧縮記帳 54：圧縮記帳 55：圧縮記帳 56：圧縮記帳 57：圧縮記帳 58：役員報酬 59：役員報酬 60：役員報酬

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	法人税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 61：役員報酬 62：役員報酬 63：役員報酬 64：外国税額控除 65：外国税額控除 66：外国税額控除 67：外国税額控除 68：外国税額控除 69：外国税額控除 70：外国税額控除 71：外国税額控除 72：外国税額控除 73：外国税額控除 74：外国税額控除 75：外国税額控除		回 76：外国子会社からの配当金の益金不算入額 77：外国子会社からの配当金の益金不算入額 78：外国子会社からの配当金の益金不算入額 79：外国子会社からの配当金の益金不算入額 80：外国子会社からの配当金の益金不算入額		
テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	法人税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：減価償却 02：減価償却 03：減価償却 04：減価償却 05：減価償却 06：減価償却 07：資本等取引 08：資本等取引 09：資本等取引 10：資本等取引 11：資本等取引 12：資本等取引 13：資本等取引 14：資本等取引 15：資本等取引	16：グループ法人税制 17：グループ法人税制 18：グループ法人税制 19：グループ法人税制 20：グループ法人税制 21：グループ法人税制 22：グループ法人税制 23：グループ法人税制 24：設立事業年度 25：設立事業年度 26：設立事業年度 27：設立事業年度 28：設立事業年度 29：設立事業年度 30：設立事業年度

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	法人税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：組織再編税制 32：組織再編税制 33：組織再編税制 34：組織再編税制 35：組織再編税制 36：組織再編税制 37：組織再編税制 38：組織再編税制 39：組織再編税制 40：組織再編税制 41：連結納税制度 42：連結納税制度 43：連結納税制度 44：連結納税制度 45：連結納税制度	46：連結納税制度 47：連結納税制度 48：連結納税制度 49：連結納税制度 50：連結納税制度 51：解散税制 52：解散税制 53：解散税制 54：解散税制 55：解散税制 56：解散税制 57：解散税制 58：解散税制 59：解散税制 60：解散税制

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	法人税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 61：理論・計算演習 62：理論・計算演習 63：理論・計算演習 64：理論・計算演習 65：理論・計算演習 66：改正税法 67：改正税法 68：改正税法 69：応用演習 70：応用演習		回		
テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	相続税法入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	澤朋仁
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：相続税の概要 02：相続税の概要 03：相続税の申告 04：相続税の申告 05：相続税の申告 06：相続税と民法 07：相続税と民法 08：相続税と民法 09：相続税の納税義務者 10：相続税の納税義務者 11：相続税の納税義務者 12：課税財産と非課税財産 13：課税財産と非課税財産 14：課税財産と非課税財産 15：課税財産と非課税財産	16：生命保険金等 17：生命保険金等 18：生命保険金等 19：生命保険金等 20：生命保険金等

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	相続税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：生命保険金等 02：生命保険金等 03：生命保険金等 04：生命保険金等 05：生命保険金等 06：退職手当金等 07：退職手当金等 08：退職手当金等 09：退職手当金等 10：退職手当金等 11：債務控除 12：債務控除 13：債務控除 14：債務控除 15：債務控除	16：減価償却 17：減価償却 18：減価償却 19：減価償却 20：減価償却 21：生前贈与財産の加算 22：生前贈与財産の加算 23：生前贈与財産の加算 24：生前贈与財産の加算 25：生前贈与財産の加算 26：相続税の計算 27：相続税の計算 28：相続税の計算 29：相続税の計算 30：相続税の計算

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	相続税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：財産評価の原則 32：財産評価の原則 33：財産評価の原則 34：財産評価の原則 35：財産評価の原則 36：宅地及び権利の評価 37：宅地及び権利の評価 38：宅地及び権利の評価 39：宅地及び権利の評価 40：宅地及び権利の評価 41：家屋及び権利の評価 42：家屋及び権利の評価 43：家屋及び権利の評価 44：家屋及び権利の評価 45：家屋及び権利の評価	46：一般動産の評価 47：一般動産の評価 48：一般動産の評価 49：一般動産の評価 50：一般動産の評価 51：一般動産の評価 52：棚卸商品等の評価 53：棚卸商品等の評価 54：棚卸商品等の評価 55：棚卸商品等の評価 56：棚卸商品等の評価 57：相続税の総額と加算の制度 58：相続税の総額と加算の制度 59：相続税の総額と加算の制度 60：相続税の総額と加算の制度

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	相続税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	61：贈与税額控除 62：贈与税額控除 63：贈与税額控除 64：贈与税額控除 65：贈与税額控除 66：配偶者税額軽減額 67：配偶者税額軽減額 68：配偶者税額軽減額 69：配偶者税額軽減額 70：配偶者税額軽減額 71：未成年者控除額 72：未成年者控除額 73：未成年者控除額 74：未成年者控除額 75：未成年者控除額	76：障害者控除 77：障害者控除 78：障害者控除 79：障害者控除 80：障害者控除

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	相続税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：相続税精算課税制度	16：農地の評価
	02：相続税精算課税制度	17：農地の評価
	03：相続税精算課税制度	18：農地の評価
	04：相続税精算課税制度	19：農地の評価
	05：相続税精算課税制度	20：農地の評価
	06：贈与税の非課税財産	21：山林の評価
	07：贈与税の非課税財産	22：山林の評価
	08：贈与税の非課税財産	23：山林の評価
	09：贈与税の非課税財産	24：山林の評価
	10：贈与税の非課税財産	25：山林の評価
	11：相続税・贈与税の申告と納付	26：立木の評価と評価減
	12：相続税・贈与税の申告と納付	27：立木の評価と評価減
	13：相続税・贈与税の申告と納付	28：立木の評価と評価減
	14：相続税・贈与税の申告と納付	29：立木の評価と評価減
	15：相続税・贈与税の申告と納付	30：立木の評価と評価減

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	相続税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：構築物の評価 32：構築物の評価 33：構築物の評価 34：構築物の評価 35：構築物の評価 36：確認テスト 37：相次相続控除額 38：相次相続控除額 39：相次相続控除額 40：相次相続控除額 41：相次相続控除額 42：相続税の外国税額控除額 43：相続税の外国税額控除額 44：相続税の外国税額控除額 45：相続税の外国税額控除額	46：相続税の外国税額控除額 47：贈与税額控除額 48：贈与税額控除額 49：贈与税額控除額 50：贈与税額控除額 51：贈与税額控除額 52：贈与税の配偶者控除 53：贈与税の配偶者控除 54：贈与税の配偶者控除 55：贈与税の配偶者控除 56：贈与税の配偶者控除 57：直系尊属から教育資金の一括贈与 58：直系尊属から教育資金の一括贈与 59：直系尊属から教育資金の一括贈与 60：直系尊属から教育資金の一括贈与

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	相続税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 61：住宅取得資金の贈与 62：住宅取得資金の贈与 63：贈与税の外国税額控除 64：贈与税の外国税額控除 65：納税猶予制度 66：納税猶予制度 67：延納・物納制度 68：延納・物納制度 69：受益証券等の評価 70：受益証券等の評価	回			
テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	会計士入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	30	単位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士試験の財務会計論・管理会計論についての知識を身につける。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する。				
到達目標	財務会計・管理会計についての理解を深める。				

授業内容	回	回
	01：財務会計の基礎知識 02：財務会計の基礎知識 03：財務会計の基礎知識 04：財務会計の基礎知識 05：財務会計の基礎知識 06：損益計算書総論 07：損益計算書総論 08：損益計算書総論 09：損益計算書総論 10：損益計算書総論 11：貸借対照表総論 12：貸借対照表総論 13：貸借対照表総論 14：貸借対照表総論 15：貸借対照表総論	16：部門別計算 17：個別原価計算 18：総合原価計算① 19：総合原価計算② 20：標準原価計算 21：原価計算基準① 22：問題演習 23：原価計算基準② 24：問題演習 25：原価計算基準③ 26：問題演習 27：原価計算基準④ 28：問題演習 29：原価計算基準⑤ 30：問題演習

テキスト 参考文献	財務会計論Ⅰ、管理会計論Ⅰ
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：公認会計士税理士科	
授業科目	財務会計論	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記における中、上級レベルの計算処理技術の理解 日本における経済社会の中心的役割を担っている株式会社を対象とした簿記の学習をする。 【概要】 演習問題解答、解説により未学習項目の知識を習得する。演習期は、演習を解答、解説をすることにより知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	正確な計算処理技術の修得とその背景にある理論的な側面にも興味を持つようになること。				

授業内容	回	回
	01：財務会計の基礎知識① 02：財務会計の基礎知識② 03：損益計算書総論① 04：損益計算書総論② 05：貸借対照表総論① 06：貸借対照表総論② 07：会計公準及び会計主体論 08：資本維持論 09：収益費用・資産負債アプローチ① 10：収益費用・資産負債アプローチ② 11：財務会計機能と企業会計制度及び会計基準 12：一般原則 13；概念フレームワーク① 14：概念フレームワーク② 15：損益計算書の表示及び包括利益	16：収益認識と測定① 17：収益認識と測定② 18：収益認識と測定③ 19：貸借対照表の表示及び棚卸資産 20：棚卸資産① 21：棚卸資産② 22：有形固定資産① 23：有形固定資産② 24：リース会計① 25：リース会計② 26：無形固定資産及び投資その他の資産 27：固定資産の減損① 28：固定資産の減損② 29：繰延資産 30：研究開発費とソフトウェア

テキスト 参考文献	財務会計論Ⅰ～Ⅴテキスト、問題集 演習問題
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務会計論	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記における中、上級レベルの計算処理技術の理解 日本における経済社会の中心的役割を担っている株式会社を対象とした簿記の学習をする。 【概要】 演習問題解答、解説により未学習項目の知識を習得する。演習期は、演習を解答、解説をすることにより知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	正確な計算処理技術の修得とその背景にある理論的な側面にも興味を持つようになること。				

授業内容	回	回
	31：演習問題の解答及び解説 32：演習問題の解答及び解説 33：演習問題の解答及び解説 34：演習問題の解答及び解説 35：演習問題の解答及び解説 36：演習問題の解答及び解説 37：演習問題の解答及び解説 38：演習問題の解答及び解説 39：演習問題の解答及び解説 40：演習問題の解答及び解説 41：演習問題の解答及び解説 42：演習問題の解答及び解説 43：演習問題の解答及び解説 44：演習問題の解答及び解説 45：演習問題の解答及び解説	46：演習問題の解答及び解説 47：演習問題の解答及び解説 48：演習問題の解答及び解説 49：演習問題の解答及び解説 50：演習問題の解答及び解説 51：演習問題の解答及び解説 52：演習問題の解答及び解説 53：演習問題の解答及び解説 54：演習問題の解答及び解説 55：演習問題の解答及び解説 56：演習問題の解答及び解説 57：演習問題の解答及び解説 58：演習問題の解答及び解説 59：演習問題の解答及び解説 60：演習問題の解答及び解説

テキスト 参考文献	財務会計論Ⅰ～Ⅴテキスト、問題集 演習問題
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	管理会計論	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経営管理者に役立つ経済的情報を提供する会計知識を身に付けることを目的とする。 【概要】 講義、演習問題、解説により知識を習得する。				
到達目標	原価計算の知識と計算技術の理解・複合問題への対応力強化				
授業内容	回 01：部門別計算 02：個別原価計算 03：総合原価計算① 04：総合原価計算② 05：標準原価計算 07：原価計算基準① 08：問題演習 09：原価計算基準② 10：問題演習 11：原価計算基準③ 12：問題演習 13：原価計算基準④ 14：問題演習 15：原価計算基準⑤		回 16：問題演習 17：原価計算基準⑥ 18：問題演習 19：原価計算基準⑦ 20：問題演習		
テキスト 参考文献	管理会計論Ⅰ・Ⅱ　問題集、解答解説集				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	監査論	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表の監査証明業務の枠組みや理論的裏付けを身に付けること。 【概要】 テキストを中心に講義形式で講義を行い、知識を習得する。短答式試験に備え、肢別問題集で知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	独立した立場による監査人の監査業務に関して必要となる指針を学習する。金融商品取引法や会社法にもとづく財務諸表監査において、実務上要求される知識と監査技術を習得する。				
授業内容	回 01：財務諸表監査総論、監査主体論 02：監査基準論、監査業務・証拠・手続 03：監査業務の契約、監査計画 04：リスク・アプローチ・評価及び手続 05：監査証拠入手方法、監査における重要性 06：特別な検討を要するリスク、関係 07：財務諸表監査における不正及び法令 08：グループ監査 09：監査の品質管理、監査調書 10：基礎知識、監査報告書の記載 11：追記情報、比較情報 12：継続企業の前提 13：中間監査、四半期レビュー 14：内部統制報告制度 15：総復習		回 16：演習問題の解答及び解説 17：演習問題の解答及び解説 18：演習問題の解答及び解説 19：演習問題の解答及び解説 20：演習問題の解答及び解説		
テキスト 参考文献	監査論テキスト、問題集、ポケットコンパス 肢別チェック				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	テキストを読み直し、授業内容の理解と基本的な概念、定義等の暗記を行い次の授業に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	企業法	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 私企業の存在と活動を規律する法の知識習得を目的とする。 【概要】 テキストを中心に講義形式で講義を行い、知識を習得する。短答式試験に備え、肢別問題集で知識を確実なもとして合格を期します。				
到達目標	全法体系における株式会社法の位置づけ、株式会社における種類に応じた機関構成と権限配分、業務執行者の権限及び業務と責任、株式会社の監査体制日ついて理解すること。諸制度を理解することにより、現実社会の諸活動を見通すことのできる知見を養う。				
授業内容	回 01：設立（総説、発起人、設立無効） 02：株式（概念、株式譲渡、自己株式取得） 03：機関（株主総会、取締役、監査役） 04：設立（株式の取得～単元株制度） 05：株式 06：機関 07：資金調達 08：社債 09：定款変更 10：事業譲渡 11：組織再編 12：解散・持分会社 13：商法 14：金融商品取引法 15：総復習		回 16：演習問題の解答及び解説 17：演習問題の解答及び解説 18：演習問題の解答及び解説 19：演習問題の解答及び解説 20：演習問題の解答及び解説		
テキスト 参考文献	企業法Ⅰ～Ⅱ、問題集、ポケットコンパス、肢別チェック				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	テキストを読み直し、授業内容の理解と基本的概念、定義等の暗記を行い次の授業に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	租税法	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税、所得税、消費税などの法律等の知識の習得と計算技術の習得を目的とする。 【概要】 講義、例題の解説、演習問題解答、解説により知識を習得する。				
到達目標	我が国における租税法の基本的知識及び理解を十分学ぶことにより、高度な実務が実践できる専門的な能力を習得する。				

授業内容	回	回
	01：法人税法 02：法人税法 03：評価テスト 04：法人税法 05：法人税法 06：法人税法 07：評価テスト 08：法人税法 09：法人税法 10：所得税法 11：所得税法 12：評価テスト 13：消費税法 14：消費税法 15：評価テスト	16：演習問題の解答及び解説 17：演習問題の解答及び解説 18：演習問題の解答及び解説 19：演習問題の解答及び解説 20：演習問題の解答及び解説

テキスト 参考文献	租税法Ⅰ～Ⅲ、各問題集、解答集 ポケットコンパス
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	経営学	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	10	単位	1	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経営学の基礎的知識、経営組織論、経営戦略論、日々の経済活動にみられる金融現象を体系的に理解できるようになる。 【概要】 講義形式で授業を進めていく。				
到達目標	経営学の基礎的知識、経営組織論、経営戦略論、日々の経済活動にみられる金融現象を基本的な概念や理論を理解し、説明できるようになる。				
授業内容	回 01：投資理論 02：企業財務論 03：デリバティブ 04：アメリカ経営学説 05：組織構造論 06：経営戦略論基礎概念 07：経営戦略論 08：マーケティング論 09：経営戦略の展開方式とその他 10：演習問題の解答及び解説		回		
テキスト 参考文献	テキスト(上・下巻)、問題集、ポケットコンパス				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	準備学習は、テキストを精読し、専門用語を調べておく。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	会計士試験対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて短答式試験および論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				
授業内容	回 01：財務会計論の問題演習の解答及び解説 02：財務会計論の問題演習の解答及び解説 03：財務会計論の問題演習の解答及び解説 04：財務会計論の問題演習の解答及び解説 05：財務会計論の問題演習の解答及び解説 06：財務会計論の問題演習の解答及び解説 07：財務会計論の問題演習の解答及び解説 08：財務会計論の問題演習の解答及び解説 09：財務会計論の問題演習の解答及び解説 10：財務会計論の問題演習の解答及び解説 11：財務会計論の問題演習の解答及び解説 12：財務会計論の問題演習の解答及び解説 13：財務会計論の問題演習の解答及び解説 14：財務会計論の問題演習の解答及び解説 15：財務会計論の問題演習の解答及び解説		回 16：管理会計論の問題演習の解答及び解説 17：管理会計論の問題演習の解答及び解説 18：管理会計論の問題演習の解答及び解説 19：管理会計論の問題演習の解答及び解説 20：管理会計論の問題演習の解答及び解説 21：管理会計論の問題演習の解答及び解説 22：管理会計論の問題演習の解答及び解説 23：管理会計論の問題演習の解答及び解説 24：管理会計論の問題演習の解答及び解説 25：管理会計論の問題演習の解答及び解説 26：管理会計論の問題演習の解答及び解説 27：管理会計論の問題演習の解答及び解説 28：管理会計論の問題演習の解答及び解説 29：管理会計論の問題演習の解答及び解説 30：管理会計論の問題演習の解答及び解説		
テキスト 参考文献	応用答練・直対答練				
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%				
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	会計士試験対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて短答式試験および論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				

授業内容	回	回
	31：監査論の問題演習の解答及び解説 32：監査論の問題演習の解答及び解説 33：監査論の問題演習の解答及び解説 34：監査論の問題演習の解答及び解説 35：監査論の問題演習の解答及び解説 36：監査論の問題演習の解答及び解説 37：監査論の問題演習の解答及び解説 38：監査論の問題演習の解答及び解説 39：監査論の問題演習の解答及び解説 40：監査論の問題演習の解答及び解説 41：監査論の問題演習の解答及び解説 42：監査論の問題演習の解答及び解説 43：監査論の問題演習の解答及び解説 44：監査論の問題演習の解答及び解説 45：監査論の問題演習の解答及び解説	46：企業法の問題演習の解答及び解説 47：企業法の問題演習の解答及び解説 48：企業法の問題演習の解答及び解説 49：企業法の問題演習の解答及び解説 50：企業法の問題演習の解答及び解説 51：企業法の問題演習の解答及び解説 52：企業法の問題演習の解答及び解説 53：企業法の問題演習の解答及び解説 54：企業法の問題演習の解答及び解説 55：企業法の問題演習の解答及び解説 56：企業法の問題演習の解答及び解説 57：企業法の問題演習の解答及び解説 58：企業法の問題演習の解答及び解説 59：企業法の問題演習の解答及び解説 60：企業法の問題演習の解答及び解説

テキスト 参考文献	応用答練・直対答練
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	会計士試験対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて短答式試験および論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				

授業内容	回	回
	61：租税法の問題演習の解答及び解説 62：租税法の問題演習の解答及び解説 63：租税法の問題演習の解答及び解説 64：租税法の問題演習の解答及び解説 65：租税法の問題演習の解答及び解説 66：租税法の問題演習の解答及び解説 67：租税法の問題演習の解答及び解説 68：租税法の問題演習の解答及び解説 69：租税法の問題演習の解答及び解説 70：租税法の問題演習の解答及び解説 71：租税法の問題演習の解答及び解説 72：租税法の問題演習の解答及び解説 73：租税法の問題演習の解答及び解説 74：租税法の問題演習の解答及び解説 75：租税法の問題演習の解答及び解説	76：経営学の問題演習の解答及び解説 77：経営学の問題演習の解答及び解説 78：経営学の問題演習の解答及び解説 79：経営学の問題演習の解答及び解説 80：経営学の問題演習の解答及び解説 81：経営学の問題演習の解答及び解説 82：経営学の問題演習の解答及び解説 83：経営学の問題演習の解答及び解説 84：経営学の問題演習の解答及び解説 85：経営学の問題演習の解答及び解説 86：経営学の問題演習の解答及び解説 87：経営学の問題演習の解答及び解説 88：経営学の問題演習の解答及び解説 89：経営学の問題演習の解答及び解説 90：経営学の問題演習の解答及び解説
テキスト 参考文献	応用答練・直対答練	
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%	
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。	

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	会計士試験対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて短答式試験および論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				
授業内容	回 91：演習問題の解答及び解説 92：演習問題の解答及び解説 93：演習問題の解答及び解説 94：演習問題の解答及び解説 95：演習問題の解答及び解説 96：演習問題の解答及び解説 97：演習問題の解答及び解説 98：演習問題の解答及び解説 99：演習問題の解答及び解説 100：演習問題の解答及び解説		回		
テキスト 参考文献	応用答練・直対答練				
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%				
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	インターンシップ	授業形態	実習	区　分	選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史 渡辺将史
授業回数	15	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 職場体験を通して職業を理解し、職業に就くための課題を見つけ今後の学生生活に役立てる。 【概要】 実務家講演や職場見学・体験などの実習を通して、学習した知識や技能が実社会でどのように活かせるかを学び、自身の課題を発見し解決するきっかけを作る。				
到達目標	最低限の社会人マナーの習得と職業の理解を深めて各自の課題を見つける。				
授業内容	回 01：オリエンテーション 02：オリエンテーション 03：ビジネスマナー研修 04：ビジネスマナー研修 05：インターンシップ企業実習 06：インターンシップ企業実習 07：インターンシップ企業実習 08：インターンシップ企業実習 09：インターンシップ企業実習 10：インターンシップ企業実習 11：インターンシップ企業実習 12：インターンシップ企業実習 13：インターンシップ企業実習 14：インターンシップ企業実習 15：インターンシップ企業実習	回			
テキスト 参考文献	大原学園「就職ガイドブック」				
成績基準	学校指定の評価シートを企業へ渡し、終了後評価シートを学校へ提出。総合評価５で優、総合評価４で良、総合評価３か２で可、総合評価１で不可とする。				
準備学習の 内　容	研修を受けた当日の内容はその日のうちに復習をして次の日の研修に備えること。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	キャリアデベロップメントA	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	早川依里 岡井俊文
授業回数	10	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 医療保険制度の概要を理解するとともに、外来診療に伴う医療請求（診療報酬）の初歩的な知識やレセプト作成技術を習得する。 【概要】 主に医療保険制度の概要と初歩的な基本診療料（初診料、再診料）を取り扱い、医療業界で働くことに対する意欲の確認と自己適性を判断しやすくなるような授業を行う。				
到達目標	医療保険制度の概要と初歩的な基本診療料に関する知識やレセプト作成技術を身に付ける。				
授業内容	回 01：医療保険制度① 02：医療保険制度② 03：初診料① 04：初診料② 05：初診料③ 06：再診料① 07：再診料② 08：再診料③ 09：問題演習（復習） 10：問題演習（復習）		回		
テキスト 参考文献	医学通信社「診療報酬点数早見表」 大原出版株式会社「医療請求事務テキスト」				
成績基準	定期試験の結果に基づき評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	終了した授業範囲の内容を理解できるようテキストを見返すと同時に、練習問題を解き、次回の授業に備えること。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	キャリアデベロップメントＢ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史 渡辺将史
授業回数	10	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 税理士試験会計科目の学習内容の理解。 【概要】 税理士試験の会計科目である簿記論、財務諸表論の導入を学ぶ。				
到達目標	会計科目の学習に向けて、初歩的な計算力と理論を身に付ける。				
授業内容	回 01：簿記論基礎問題 02：簿記論基礎問題 03：簿記論基礎問題 04：簿記論基礎問題 05：財務諸表論概論 06：財務諸表論概論 07：財務諸表論概論 08：財務諸表論理論 09：財務諸表論理論 10：財務諸表論理論	回			
テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」「財務諸表論」				
成績基準	定期試験の結果に基づき評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	終了した授業範囲の内容を理解できるようテキストを見返すと同時に、練習問題を解き、次回の授業に備えること。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	キャリアデベロップメントC	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	新村優希 榊原大介
授業回数	10	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 プレゼンテーションの基本を学び、それを基礎として初歩的なビジネス思考を理解する。 【概要】 与えられた条件のもとで、自分の持つ情報・事実・考えなどを相手に分かりやすく正確に伝え、理解・納得してもらうためのプレゼンテーション技術を身につける。				
到達目標	視覚資料を作成し、それを用いて実際にプレゼンテーションを実施できるようになる。				
授業内容	回 01：プレゼンテーションの概要 02：ストーリーづくり① 03：ストーリーづくり② 04：視覚資料の作成 05：視覚資料の作成 06：リハーサルによる確認① 07：リハーサルによる確認② 08：プレゼンテーションの実施 09：プレゼンテーションの実施 10：プレゼンテーションの振り返り	回			
テキスト 参考文献	実教出版「30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint」				
成績基準	定期試験の結果に基づき評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	終了した授業範囲の内容を理解できるようテキストを見返すと同時に、練習問題を解き、次回の授業に備えること。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	キャリアデベロップメントD	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎
授業回数	10	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 基本情報処理の初歩を学び理解をする 【概要】 進数計算、コンピュータの構成要素基礎、データベース基礎、ネットワーク基礎、アルゴリズム基礎を学び基本情報技術者試験の基礎的な内容を学ぶ				
到達目標	基本情報技術者の初歩的な内容を学び、理解をする。				
授業内容	回 01：進数計算 02：コンピュータの構成要素 03：データベース正規化 04：IPアドレス 07～10：基礎的なアルゴリズム	回			
テキスト 参考文献	大原出版「基本情報技術者テキスト」				
成績基準	確認テストの結果に基づき評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	終了した授業範囲の内容を理解できるようテキストを見返すと同時に、練習問題を解き、次回の授業に備えること。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級商簿会計応用演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	渡辺将史
授業回数	100	単位時間数	200	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 １年度目に日商簿記１級及び全経簿記上級が合格に至らず２年度目の６月日商簿記１級の合格を目指します 【概要】 １年度目で受けたすべての商業簿記会計学の授業を前提に問題練習とその解説を中心に授業が行われます				
到達目標	日商簿記１級合格				

授業内容	回	回
	01：日商簿記１級商簿会計対策講義 02：日商簿記１級商簿会計対策講義 03：日商簿記１級商簿会計対策講義 04：日商簿記１級商簿会計対策講義 05：日商簿記１級商簿会計対策講義 06：日商簿記１級商簿会計対策講義 07：日商簿記１級商簿会計対策講義 08：日商簿記１級商簿会計対策講義 09：日商簿記１級商簿会計対策講義 10：日商簿記１級商簿会計対策講義 11：日商簿記１級商簿会計対策講義 12：日商簿記１級商簿会計対策講義 13：日商簿記１級商簿会計対策講義 14：日商簿記１級商簿会計対策講義 15：日商簿記１級商簿会計対策講義	16：日商簿記１級商簿会計対策講義 17：日商簿記１級商簿会計対策講義 18：日商簿記１級商簿会計対策講義 19：日商簿記１級商簿会計対策講義 20：日商簿記１級商簿会計対策講義 21：日商簿記１級商簿会計対策講義 22：日商簿記１級商簿会計対策講義 23：日商簿記１級商簿会計対策講義 24：日商簿記１級商簿会計対策講義 25：日商簿記１級商簿会計対策講義 26：日商簿記１級商簿会計対策講義 27：日商簿記１級商簿会計対策講義 28：日商簿記１級商簿会計対策講義 29：日商簿記１級商簿会計対策講義 30：日商簿記１級商簿会計対策講義

テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記１級直前対策講義直前答案練習模擬試験全国統一公開模擬試験日商簿記1級商簿簿記会計学テキストⅠⅡ
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級商簿会計応用演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	渡辺将史
授業回数	100	単位時間数	200	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 １年度目に日商簿記１級及び全経簿記上級が合格に至らず２年度目の６月日商簿記１級の合格を目指します 【概要】 １年度目で受けたすべての商業簿記会計学の授業を前提に問題練習とその解説を中心に授業が行われます				
到達目標	日商簿記１級合格				

授業内容	回	回
	31：日商簿記１級商簿会計対策講義 32：日商簿記１級商簿会計対策講義 33：日商簿記１級商簿会計対策講義 34：日商簿記１級商簿会計対策講義 35：日商簿記１級商簿会計対策講義 36：日商簿記１級商簿会計対策講義 37：日商簿記１級商簿会計対策講義 38：日商簿記１級商簿会計対策講義 39：日商簿記１級商簿会計対策講義 40：日商簿記１級商簿会計対策講義 41：日商簿記１級商簿会計対策講義 42：日商簿記１級商簿会計対策講義 43：日商簿記１級商簿会計対策講義 44：日商簿記１級商簿会計対策講義 45：日商簿記１級商簿会計対策講義	46：日商簿記１級商簿会計対策講義 47：日商簿記１級商簿会計対策講義 48：日商簿記１級商簿会計対策講義 49：日商簿記１級商簿会計対策講義 50：日商簿記１級商簿会計対策講義 51：日商簿記１級商簿会計対策講義 52：日商簿記１級商簿会計対策講義 53：日商簿記１級商簿会計対策講義 54：日商簿記１級商簿会計対策講義 55：日商簿記１級商簿会計対策講義 56：日商簿記１級商簿会計対策講義 57：日商簿記１級商簿会計対策講義 58：日商簿記１級商簿会計対策講義 59：日商簿記１級商簿会計対策講義 60：日商簿記１級商簿会計対策講義

テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記１級直前対策講義直前答案練習模擬試験全国統一公開模擬試験日商簿記1級商簿簿記会計学テキストⅠⅡ
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級商簿会計応用演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	渡辺将史
授業回数	100	単位時間数	200	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 １年度目に日商簿記１級及び全経簿記上級が合格に至らず２年度目の６月日商簿記１級の合格を目指します 【概要】 １年度目で受けたすべての商業簿記会計学の授業を前提に問題練習とその解説を中心に授業が行われます				
到達目標	日商簿記１級合格				

授業内容	回	回
	61：日商簿記１級商簿会計対策講義 62：日商簿記１級商簿会計対策講義 63：日商簿記１級商簿会計対策講義 64：日商簿記１級商簿会計対策講義 65：日商簿記１級商簿会計対策講義 66：日商簿記１級商簿会計対策講義 67：日商簿記１級商簿会計対策講義 68：日商簿記１級商簿会計対策講義 69：日商簿記１級商簿会計対策講義 70：日商簿記１級商簿会計対策講義 71：日商簿記１級商簿会計対策講義 72：日商簿記１級商簿会計対策講義 73：日商簿記１級商簿会計対策講義 74：日商簿記１級商簿会計対策講義 75：日商簿記１級商簿会計対策講義	76：大原オリジナルの答案練習用試験 77：大原オリジナルの答案練習用試験 78：大原オリジナルの答案練習用試験 79：過去本試験問題による答案作成練習 80：過去本試験問題による答案作成練習 81：過去本試験問題による答案作成練習 82：問題の解答解説 83：問題の解答解説 84：問題の解答解説 85：解答テクニックや解答上の注意 86：解答テクニックや解答上の注意 87：解答テクニックや解答上の注意 88：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 89：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 90：間違った箇所の解き直し類似問題の解答

テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記１級直前対策講義直前答案練習模擬試験全国統一公開模擬試験日商簿記1級商簿簿記会計学テキストⅠⅡ
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級商簿会計応用演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	渡辺将史
授業回数	100	単位時間数	200	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 １年度目に日商簿記１級及び全経簿記上級が合格に至らず２年度目の６月日商簿記１級の合格を目指します 【概要】 １年度目で受けたすべての商業簿記会計学の授業を前提に問題練習とその解説を中心に授業が行われます				
到達目標	日商簿記１級合格				
授業内容	回 91：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 92：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 93：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 94：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 95：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 96：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 97：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 98：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 99：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 100：間違った箇所の解き直し類似問題の解答	回			
テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記１級直前対策講義直前答案練習模擬試験全国統一公開模擬試験日商簿記1級商簿簿記会計学テキストⅠⅡ				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級商簿会計応用演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	渡辺将史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 １年度目に日商簿記１級及び全経簿記上級が合格に至らず２年度目の７月全経簿記上級の合格を目指します 【概要】 １年度目で受けたすべての商業簿記会計学の授業を前提に問題練習とその解説を中心に授業が行われます				
到達目標	全経簿記上級合格				
授業内容	回 01：全経簿記上級対策講義 02：全経簿記上級対策講義 03：全経簿記上級対策講義 04：大原オリジナルの答案練習用試験 05：大原オリジナルの答案練習用試験 06：大原オリジナルの答案練習用試験 07：過去本試験問題による答案作成練習 08：過去本試験問題による答案作成練習 09：過去本試験問題による答案作成練習 10：問題の解答解説 11：問題の解答解説 12：解答テクニックや解答上の注意 13：解答テクニックや解答上の注意 14：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 15：間違った箇所の解き直し類似問題の解答	回			
テキスト 参考文献	大原出版　全経簿記上級直前対策講義直前答案練習模擬試験全国統一公開模擬試験日商簿記1級商簿簿記会計学テキストⅠⅡ				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級工簿原計応用演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	岡井俊文
授業回数	80	単位時間数	160	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 １年度目に日商簿記１級及び全経簿記上級が合格に至らず２年度目の６月日商簿記１級の合格を目指します 【概要】 １年度目で受けたすべての工業簿記原価計算の授業を前提に問題練習とその解説を中心に授業が行われます				
到達目標	日商簿記１級合格				

授業内容	回	回
	01：日商簿記１級商簿会計対策講義 02：日商簿記１級商簿会計対策講義 03：日商簿記１級商簿会計対策講義 04：日商簿記１級商簿会計対策講義 05：日商簿記１級商簿会計対策講義 06：日商簿記１級商簿会計対策講義 07：日商簿記１級商簿会計対策講義 08：日商簿記１級商簿会計対策講義 09：日商簿記１級商簿会計対策講義 10：日商簿記１級商簿会計対策講義 11：日商簿記１級商簿会計対策講義 12：日商簿記１級商簿会計対策講義 13：日商簿記１級商簿会計対策講義 14：日商簿記１級商簿会計対策講義 15：日商簿記１級商簿会計対策講義	16：日商簿記１級商簿会計対策講義 17：日商簿記１級商簿会計対策講義 18：日商簿記１級商簿会計対策講義 19：日商簿記１級商簿会計対策講義 20：日商簿記１級商簿会計対策講義 21：日商簿記１級商簿会計対策講義 22：日商簿記１級商簿会計対策講義 23：日商簿記１級商簿会計対策講義 24：日商簿記１級商簿会計対策講義 25：日商簿記１級商簿会計対策講義 26：日商簿記１級商簿会計対策講義 27：日商簿記１級商簿会計対策講義 28：日商簿記１級商簿会計対策講義 29：日商簿記１級商簿会計対策講義 30：日商簿記１級商簿会計対策講義

テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記１級直前対策講義直前答案練習模擬試験全国統一公開模擬試験日商簿記1級工業簿記・原価計算テキスト
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級工簿原計応用演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	岡井俊文
授業回数	80	単位時間数	160	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 １年度目に日商簿記１級及び全経簿記上級が合格に至らず２年度目の６月日商簿記１級の合格を目指します 【概要】 １年度目で受けたすべての工業簿記原価計算の授業を前提に問題練習とその解説を中心に授業が行われます				
到達目標	日商簿記１級合格				

授業内容	回	回
	31：日商簿記１級商簿会計対策講義 32：日商簿記１級商簿会計対策講義 33：日商簿記１級商簿会計対策講義 34：日商簿記１級商簿会計対策講義 35：日商簿記１級商簿会計対策講義 36：日商簿記１級商簿会計対策講義 37：日商簿記１級商簿会計対策講義 38：日商簿記１級商簿会計対策講義 39：日商簿記１級商簿会計対策講義 40：日商簿記１級商簿会計対策講義 41：日商簿記１級商簿会計対策講義 42：日商簿記１級商簿会計対策講義 43：日商簿記１級商簿会計対策講義 44：日商簿記１級商簿会計対策講義 45：日商簿記１級商簿会計対策講義	46：日商簿記１級商簿会計対策講義 47：日商簿記１級商簿会計対策講義 48：日商簿記１級商簿会計対策講義 49：日商簿記１級商簿会計対策講義 50：日商簿記１級商簿会計対策講義 51：日商簿記１級商簿会計対策講義 52：日商簿記１級商簿会計対策講義 53：日商簿記１級商簿会計対策講義 54：日商簿記１級商簿会計対策講義 55：日商簿記１級商簿会計対策講義 56：日商簿記１級商簿会計対策講義 57：日商簿記１級商簿会計対策講義 58：日商簿記１級商簿会計対策講義 59：日商簿記１級商簿会計対策講義 60：日商簿記１級商簿会計対策講義

テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記１級直前対策講義直前答案練習模擬試験全国統一公開模擬試験日商簿記1級工業簿記・原価計算テキスト
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級工簿原計応用演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	岡井俊文
授業回数	80	単位時間数	160	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 １年度目に日商簿記１級及び全経簿記上級が合格に至らず２年度目の６月日商簿記１級の合格を目指します 【概要】 １年度目で受けたすべての工業簿記原価計算の授業を前提に問題練習とその解説を中心に授業が行われます				
到達目標	日商簿記１級合格				

授業内容		
	回	回
	61：大原オリジナルの答案練習用試験 62：大原オリジナルの答案練習用試験 63：大原オリジナルの答案練習用試験 64：過去本試験問題による答案作成練習 65：過去本試験問題による答案作成練習 66：過去本試験問題による答案作成練習 67：問題の解答解説 68：問題の解答解説 69：問題の解答解説 70：解答テクニックや解答上の注意 71：解答テクニックや解答上の注意 72：解答テクニックや解答上の注意 73：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 74：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 75：間違った箇所の解き直し類似問題の解答	76：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 77：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 78：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 79：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 80：間違った箇所の解き直し類似問題の解答

テキスト 参考文献	大原出版 日商簿記１級直前対策講義、直前対策答練・模試
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	上級工簿原計応用演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	岡井俊文
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 １年度目に日商簿記１級及び全経簿記上級が合格に至らず２年度目の７月全経簿記上級の合格を目指します 【概要】 １年度目で受けたすべての商業簿記会計学の授業を前提に問題練習とその解説を中心に授業が行われます				
到達目標	全経簿記上級合格				
授業内容	回 01：全経簿記上級対策講義 02：全経簿記上級対策講義 03：全経簿記上級対策講義 04：大原オリジナルの答案練習用試験 05：大原オリジナルの答案練習用試験 06：大原オリジナルの答案練習用試験 07：過去本試験問題による答案作成練習 08：過去本試験問題による答案作成練習 09：過去本試験問題による答案作成練習 10：問題の解答解説 11：問題の解答解説 12：解答テクニックや解答上の注意 13：解答テクニックや解答上の注意 14：間違った箇所の解き直し類似問題の解答 15：間違った箇所の解き直し類似問題の解答	回			
テキスト 参考文献	大原出版　全経簿記上級直前対策講義直前答案練習模擬試験全国統一公開模擬試験日商簿記1級工業簿記原価計算テキスト				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス基礎(マナー共通)	授業形態	実習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	新村優希 西田裕香
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けてビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人としての言葉遣いや身嗜みとともに、電話応対などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人としての基本マナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	01：職場のマナー 02：職場のマナー 03：職場のマナー 04：職場のマナー 05：挨拶と敬語 06：挨拶と敬語 07：挨拶と敬語 08：挨拶と敬語 09：挨拶と敬語 10：挨拶と敬語 11：電話応対 12：電話応対 13：電話応対 14：電話応対 15：電話応対	16：電話応対 17：電話応対 18：電話応対 19：電話応対 20：電話応対 21：電話応対 22：電話応対 23：電話応対 24：電話応対 25：電話応対 26：電話応対 27：文書の作成と管理 28：文書の作成と管理 29：文書の作成と管理 30：文書の作成と管理

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCP経理実務テキスト」　等
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス基礎(マナー共通)	授業形態	実習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	渡辺将史 西田裕香
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けてビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人としての言葉遣いや身嗜みとともに、電話応対などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人としての基本マナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				
授業内容	回 31：文書の作成と管理 32：文書の作成と管理 33：一般的なビジネス文書の作成 34：一般的なビジネス文書の作成 35：一般的なビジネス文書の作成 36：一般的なビジネス文書の作成 37：一般的なビジネス文書の作成 38：一般的なビジネス文書の作成 39：一般的なビジネス文書の作成 40：一般的なビジネス文書の作成 41：一般的なビジネス文書の作成 42：一般的なビジネス文書の作成 43：一般的なビジネス文書の作成 44：一般的なビジネス文書の作成 45：一般的なビジネス文書の作成	回			
テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCP経理実務テキスト」　等				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(実務共通)	授業形態	講義	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	渡辺将史 西田裕香
授業回数	36	単位時間数	72	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 実務で必要な各種証憑書類などから仕訳が切れるようになる。会社に係る税金の基礎を習得し、給与などの支払い時の源泉徴収税額に関する内容を理解する。 【概要】 経理の基礎的現場スキルを身に付けるための所得税、住民税、消費税、社会保険、労働保険などの基礎から書類作成までを広く学習する。				
到達目標	卒業後、経理事務職の即戦力として業務を遂行して行く上で確実に理解しなければならない必要最低限の内容を、見直し・やり直し・リピートを徹底し、習熟度、理解度、処理力を向上させる。				

授業内容	回	回
	01：経理・総務の年間カリキュラム	16：年次決算と月次決算
	02：実務会計基礎(小切手・手形・各種経費)	17：年次決算と月次決算
	03：実務会計基礎(小切手・手形・各種経費)	18：年次決算と月次決算
	04：健康保険	19：決算対策
	05：健康保険	20：決算対策
	06：健康保険	21：決算対策
	07：厚生年金保険の概要及び会計処理	22：経営分析の基礎知識
	08：厚生年金保険の概要及び会計処理	23：経営分析の基礎知識
	09：厚生年金保険の概要及び会計処理	24：経営分析の基礎知識
	10：各種税金の会計処理	25：経営分析の基礎知識
	11：各種税金の会計処理	26：経営分析の基礎知識
	12：各種税金の会計処理	27：経営分析の基礎知識
	13：原則的な日々の記帳から決算までの流れ	28：所得税・消費税の基礎知識
	14：原則的な日々の記帳から決算までの流れ	29：所得税・消費税の基礎知識
	15：原則的な日々の記帳から決算までの流れ	30：所得税・消費税の基礎知識

テキスト 参考文献	大原出版「経理実務」「給与計算実務」「PCPパソコン実習テキスト」
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までにテキスト、問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深める。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(実務共通)	授業形態	講義	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	渡辺将史 西田裕香
授業回数	36	単位時間数	72	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 実務で必要な各種証憑書類などから仕訳が切れるようになる。会社に係る税金の基礎を習得し、給与などの支払い時の源泉徴収税額に関する内容を理解する。 【概要】 経理の基礎的現場スキルを身に付けるための所得税、住民税、消費税、社会保険、労働保険などの基礎から書類作成までを広く学習する。				
到達目標	卒業後、経理事務職の即戦力として業務を遂行して行く上で確実に理解しなければならない必要最低限の内容を、見直し・やり直し・リピートを徹底し、習熟度、理解度、処理力を向上させる。				
授業内容	回 31：年末調整 32：年末調整 33：年末調整 34：労働保険及び会計処理 35：労働保険及び会計処理 36：労働保険及び会計処理	回			
テキスト 参考文献	大原出版「PCP経理実務テキスト」「PCP給与計算実務テキスト」「PCPパソコン実習テキスト」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までにテキスト、問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深める。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(経理Ⅰ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	渡辺将史
授業回数	54	単位時間数	108	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。また、経理実務担当者として必要な表計算ソフト処理技術や情報活用等の技能を習得する。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	01：職場のマナー	16：納品書作成と売上計上
	02：職場のマナー	17：請求書の作成と代金回収管理
	03：挨拶・敬語	18：仕入事務の流れと記帳
	04：挨拶・敬語	19：仕入代金の支払いと買掛金管理
	05：電話応対応用	20：Excel実務会計実習
	06：電話応対応用	21：表計算の基本操作
	07：接遇マナー概要と心構え	22：表計算の編集
	08：接遇実習	23：表計算の関数
	09：接遇実習	24：表計算の集計
	10：接遇実習	25：表計算のグラフ作成
	11：接遇実習	26：表計算のデータベース機能
	12：接遇マナー効果測定	27：表計算のデータ抽出
	13：接遇マナー効果測定	28：表計算のピボットテーブル
	14：接遇マナー効果測定	29：表計算のマクロ
	15：売上事務の流れ	30：表計算効果測定

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCP販売管理テキスト」　等
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(経理Ⅰ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	渡辺将史
授業回数	54	単位時間数	108	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。また、経理実務担当者として必要な表計算ソフト処理技術や情報活用等の技能を習得する。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	
回 31：時事研究 32：テーマの個人研究 33：テーマの個人研究 34：時事研究テーマによるディベート 35：時事研究テーマによるディベート 36：グループ研究の資料作成 37：グループ研究の資料作成 38：グループ研究の発表 39：グループ研究の発表 40：マーケティングと顧客満足 41：会社の目的 42：財務知識と決算書および事例研究 43：財務知識と決算書および事例研究 44：財務知識と決算書および事例研究 45：マーケティング効果測定①	回 46：流動比率と固定比率 47：同業企業比較 48：B/S診断 49：マーケティング効果測定② 50：表計算のデータ抽出 51：様々なマーケティング 52：情報収集および分析 53：不況時のマーケティング 54：効果測定

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCP販売管理テキスト」　等
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(事務Ⅰ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	大内史彦
授業回数	54	単位時間数	108	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	01：職場のマナー	16：納品書作成と売上計上
	02：職場のマナー	17：請求書の作成と代金回収管理
	03：挨拶・敬語	18：仕入事務の流れと記帳
	04：挨拶・敬語	19：仕入代金の支払いと買掛金管理
	05：電話応対応用	20：Excel実務会計実習
	06：電話応対応用	21：表計算の基本操作
	07：接遇マナー概要と心構え	22：表計算の編集
	08：接遇実習	23：表計算の関数
	09：接遇実習	24：表計算の集計
	10：接遇実習	25：表計算のグラフ作成
	11：接遇実習	26：表計算のデータベース機能
	12：接遇マナー効果測定	27：表計算のデータ抽出
	13：接遇マナー効果測定	28：表計算のピボットテーブル
	14：接遇マナー効果測定	29：表計算のマクロ
	15：売上事務の流れ	30：表計算効果測定

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCP販売管理テキスト」　等
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(事務Ⅰ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	大内史彦
授業回数	54	単位時間数	108	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容		
	回	回
	31：時事研究	46：流動比率と固定比率
	32：テーマの個人研究	47：同業企業比較
	33：テーマの個人研究	48：B/S診断
	34：時事研究テーマによるディベート	49：マーケティング効果測定②
	35：時事研究テーマによるディベート	50：表計算のデータ抽出
	36：グループ研究の資料作成	51：様々なマーケティング
	37：グループ研究の資料作成	52：情報収集および分析
	38：グループ研究の発表	53：不況時のマーケティング
	39：グループ研究の発表	54：効果測定
	40：マーケティングと顧客満足	
	41：会社の目的	
	42：財務知識と決算書および事例研究	
	43：財務知識と決算書および事例研究	
	44：財務知識と決算書および事例研究	
	45：マーケティング効果測定①	

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCP販売管理テキスト」　等
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(営業販売Ⅰ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	西田裕香
授業回数	54	単位時間数	108	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 「コスト意識」と「費用対効果」について考え、財務諸表に関する知識を深め、企業の安全性等の比較を行う。数字に強くなり、抽象的でなく具体的な表現ができるようになる。 【概要】 顧客視点、経営側視点で考える体験から、マーケティングに必要な能力を身につける。企業の実際データを基に分析を行い、収益力を上げるための企画をグループワークにて行う。				
到達目標	卒業研究である実際の店舗をターゲットとし、各種分析手法を使い収益力を上げる企画を作り出すこと。				
授業内容	回 01：職場のマナー 02：職場のマナー 03：挨拶・敬語 04：挨拶・敬語 05：電話応対応用 06：電話応対応用 07：接遇マナー概要と心構え 08：接遇実習 09：接遇実習 10：接遇実習 11：接遇実習 12：接遇マナー効果測定 13：接遇マナー効果測定 14：接遇マナー効果測定 15：売上事務の流れ		回 16：納品書作成と売上計上 17：請求書の作成と代金回収管理 18：仕入事務の流れと記帳 19：仕入代金の支払いと買掛金管理 20：Excel実務会計実習 21：表計算の基本操作 22：表計算の編集 23：表計算の関数 24：表計算の集計 25：表計算のグラフ作成 26：表計算のデータベース機能 27：表計算のデータ抽出 28：表計算のピボットテーブル 29：表計算のマクロ 30：表計算効果測定		
テキスト 参考文献	大原出版「PCPマーケティングテキスト」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までにテキストを使い、学習範囲内の例題を解いて理解を深める。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(営業販売Ⅰ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	西田裕香
授業回数	54	単位時間数	108	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 「コスト意識」と「費用対効果」について考え、財務諸表に関する知識を深め、企業の安全性等の比較を行う。数字に強くなり、抽象的でなく具体的な表現ができるようになる。 【概要】 顧客視点、経営側視点で考える体験から、マーケティングに必要な能力を身につける。企業の実際データを基に分析を行い、収益力を上げるための企画をグループワークにて行う。				
到達目標	卒業研究である実際の店舗をターゲットとし、各種分析手法を使い収益力を上げる企画を作り出すこと。				
授業内容	回 31：時事研究 32：テーマの個人研究 33：テーマの個人研究 34：時事研究テーマによるディベート 35：時事研究テーマによるディベート 36：グループ研究の資料作成 37：グループ研究の資料作成 38：グループ研究の発表 39：グループ研究の発表 40：マーケティングと顧客満足 41：会社の目的 42：財務知識と決算書および事例研究 43：財務知識と決算書および事例研究 44：財務知識と決算書および事例研究 45：マーケティング効果測定①		回 46：流動比率と固定比率 47：同業企業比較 48：B/S診断 49：マーケティング効果測定② 50：表計算のデータ抽出 51：様々なマーケティング 52：情報収集および分析 53：不況時のマーケティング 54：効果測定		
テキスト 参考文献	大原出版「PCPマーケティングテキスト」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までにテキストを使い、学習範囲内の例題を解いて理解を深める。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(経理Ⅱ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	渡辺将史
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経理実務担当者として求められる財務会計や税務会計の知識を習得する。PC会計処理について基本的な項目と操作、入力処理を身に付け、決算書作成までの流れを習得する。 【概要】 経理処理上必須となる税務会計及び中～大規模企業で必要な財務会計知識を学習する。				
到達目標	卒業後、経理事務職の即戦力として業務を遂行して行く上で確実に理解しなければならない必要最低限の内容を、見直し・やり直し・リピートを徹底し、習熟度、理解度、処理力を向上させる。				

授業内容	回	回
	01：外貨建会計 02：外貨建会計 03：外貨建会計 04：リース取引 05：リース取引 06：リース取引 07：財務諸表 08：財務諸表 09：財務諸表 10：財務諸表 11：税金 12：税金 13：税金 14：税金 15：税効果会計	16：税効果会計 17：税効果会計 18：税効果会計 19：退職給付会計 20：退職給付会計 21：消費税会計 22：消費税会計 23：消費税法 24：消費税法 25：法人税法 26：法人税法 27：所得税法 28：所得税法 29：連結会計 30：連結会計

テキスト 参考文献	大原出版「財務会計テキスト」「経理実務Ⅲ[税務編]テキスト」
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までにテキスト、問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深める。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(経理Ⅱ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	渡辺将史
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経理実務担当者として求められる財務会計や税務会計の知識を習得する。PC会計処理について基本的な項目と操作、入力処理を身に付け、決算書作成までの流れを習得する。 【概要】 経理処理上必須となる税務会計及び中～大規模企業で必要な財務会計知識を学習する。				
到達目標	卒業後、経理事務職の即戦力として業務を遂行して行く上で確実に理解しなければならない必要最低限の内容を、見直し・やり直し・リピートを徹底し、習熟度、理解度、処理力を向上させる。				
授業内容	回 31：連結会計 32：連結会計 33：財務諸表作成問題演習 34：財務諸表作成問題演習 35：財務諸表作成問題演習 36：PC会計 37：日常取引の操作 38：勘定科目の追加登録 39：その他の不随機能（付箋機能） 40：決算手続き操作 41：決算書作成 42：翌期繰越処理 43：PC会計問題 44：課題演習 45：PC会計効果測定	回			
テキスト 参考文献	大原出版「財務会計テキスト」「経理実務Ⅲ[税務編]テキスト」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までにテキスト、問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深める。				

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(事務Ⅱ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	大内史彦
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人、特に事務職に求められる状況に応じた接遇マナー、電話応対をはじめとする内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	応用的なビジネスマナーと接遇能力、状況に応じた電話応対能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	01：道案内 02：道案内 03：道案内 04：道案内 05：道案内 06：道案内 07：道案内 08：クレーム・問い合わせ対応 09：クレーム・問い合わせ対応 10：クレーム・問い合わせ対応 11：クレーム・問い合わせ対応 12：クレーム・問い合わせ対応 13：クレーム・問い合わせ対応 14：クレーム・問い合わせ対応 15：電話応対演習	16：電話応対演習 17：電話応対演習 18：電話応対演習 19：電話応対演習 20：電話応対演習 21：電話応対演習 22：封筒宛名書き 23：封筒宛名書き 24：封筒宛名書き 25：封筒宛名書き 26：封筒宛名書き 27：封筒宛名書き 28：封筒宛名書き 29：上司への報告・相談 30：上司への報告・相談

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」　等
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、必要に応じて授業内容に基づいた習熟度合いの測定を行い、次の通り総合評価する。 総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(事務Ⅱ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	大内史彦
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人、特に事務職に求められる状況に応じた接遇マナー、電話応対をはじめとする内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	応用的なビジネスマナーと接遇能力、状況に応じた電話応対能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				
授業内容	回 31：上司への報告・相談 32：上司への報告・相談 33：上司への報告・相談 34：上司への報告・相談 35：上司への報告・相談 36：接遇演習 37：接遇演習 38：接遇演習 39：接遇演習 40：接遇演習 41：接遇演習 42：接遇演習 43：接遇演習 44：接遇演習 45：接遇演習	回			
テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」　等				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、必要に応じて授業内容に基づいた習熟度合いの測定を行い、次の通り総合評価する。 総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。				
準備学習の 内　　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(営業販売Ⅱ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	西田裕香
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 マーケットに対して、様々な角度から情報収集、グループ研究、発表というプロセスをグループワークで行い、コミュニケーションと情報分析の２つの能力の向上を目指していく。 【概要】 マーケティングの授業で得た顧客の視点、経営側の視点で協力企業の実店舗を対象に「売上を伸ばすための改善提案」を企画し、プレゼンテーションを行う。				
到達目標	説得力のある企画提案をするための企画書を作成し、同時に自分たちの企画内容をしっかりと伝えられる説得力のあるﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝができる。				

授業内容	回	回
	01：ガイダンス 02：業界分析 03：業界分析 04：業界分析 05：情報収集・店舗分析 06：情報収集・店舗分析 07：情報収集・店舗分析 08：店舗見学 09：店舗見学 10：店舗見学 11：課題抽出 12：課題抽出 13：課題抽出 14：仮説の作成 15：仮説の作成	16：仮説の作成 17：調査・検証 18：調査・検証 19：調査・検証 20：企画内容の作成 21：企画内容の作成 22：企画内容の作成 23：1ページ企画書作成 24：1ページ企画書作成 25：1ページ企画書作成 26：企画作成 27：企画作成 28：企画作成 29：企画作成 30：企画作成

テキスト 参考文献	特になし
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、必要に応じて授業内容に基づいた習熟度合いの測定を行い、次の通り総合評価する。 総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。
準備学習の 内　容	放課後や休日を利用して、研究対象店舗やその周辺店舗への来店・見学、同業態の情報収集と研究・分析を行い、企画書作成に活かす。

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	ビジネス応用(営業販売Ⅱ)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	西田裕香
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 マーケットに対して、様々な角度から情報収集、グループ研究、発表というプロセスをグループワークで行い、コミュニケーションと情報分析の２つの能力の向上を目指していく。 【概要】 マーケティングの授業で得た顧客の視点、経営側の視点で協力企業の実店舗を対象に「売上を伸ばすための改善提案」を企画し、プレゼンテーションを行う。				
到達目標	説得力のある企画提案をするための企画書を作成し、同時に自分たちの企画内容をしっかりと伝えられる説得力のあるﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝができる。				
授業内容	回 31：中間発表準備 32：中間発表準備 33：中間発表準備 34：中間発表 35：中間発表 36：中間発表 37：検証、企画の見直し 38：検証、企画の見直し 39：検証、企画の見直し 40：発表会準備 41：発表会準備 42：発表会準備 43：企画発表会 44：企画発表会 45：企画発表会	回			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、必要に応じて授業内容に基づいた習熟度合いの測定を行い、次の通り総合評価する。 総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。				
準備学習の 内　容	放課後や休日を利用して、研究対象店舗やその周辺店舗への来店・見学、同業態の情報収集と研究・分析を行い、企画書作成に活かす。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	PC対策Ⅱ(文書作成)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	新村優希 榊原大介
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 文書作成ソフトを用いて高度なビジネス文書作成をするとともに、ワープロ、ビジネス文書に関する応用的な技能を向上させる。 【概要】 社内外に配布するビジネス文書の作成や表計算のデータから差し込み印刷をするなど、Wordの機能を駆使して効率的に文書作成業務を進める方法を習得する。				
到達目標	Wordの機能を使いこなしてビジネス文書作成ができ、Word文書処理技能認定試験2級以上を合格できる技術を習得する。				
授業内容	回 01：ショートカットキーの利用～計算式の挿入 02：Excelデータリンク～ハイパーリンク設定 03：テンプレートの活用～文書校正機能の活用 04：実技練習問題 05：実技練習問題 06：実技練習問題 07：実技練習問題 08：実技練習問題 09：実技練習問題 10：実技練習問題 11：実技練習問題 12：実技練習問題 13：実技模擬試験 14：実技模擬試験 15：実技模擬試験	回			
テキスト 参考文献	実教出版「30時間でマスターWord」 サーティファイ「Word文書処理技能認定試験 問題集」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	PC対策Ⅱ(表計算)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	新村優希 榊原大介
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 表計算ソフトを用いて効率的なデータ入力、集計、グラフ作成ができる能力を身に付けるとともに、表計算、ビジネス図表に関する応用的な技能を向上させる。 【概要】 Excelのピボットテーブルなどの高度な機能の活用や、関数を組み合わせた数式、複合グラフの作成やマクロの活用などを駆使した効率的なデータ入力や集計、分析技法を習得する。				
到達目標	Excelの関数や機能を使いこなし、Excel表計算処理技能認定試験2級以上を合格できる技術を習得する。				
授業内容	回 01：条件付き書式・入力規則 02：高度な関数 03：オブジェクトの活用 04：実技練習問題 05：実技練習問題 06：実技練習問題 07：実技練習問題 08：実技練習問題 09：実技練習問題 10：実技練習問題 11：実技練習問題 12：実技練習問題 13：実技模擬試験 14：実技模擬試験 15：実技模擬試験		回		
テキスト 参考文献	実教出版「30時間でマスターExcel」 サーティファイ「Excel表計算処理技能認定試験 問題集」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	PC演習(文書作成)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	山本里紗 新村優希
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 Word を使用し、案内状、連絡書、報告書、申請書などを作成する問題を解くことで、これらのビジネス文書を作る能力を身に付ける。 【概要】 企業などで実際に使われている様々なビジネス文書を作成する能力を習得する。				
到達目標	Wordを活用した実践に役立つビジネス文書の作成法を用い、所定の効果測定に合格できる。				
授業内容	回 01：文書の作成と管理 02：文書の作成と管理 03：文書の作成と管理 04：一般的なビジネス文書の作成 05：一般的なビジネス文書の作成 06：一般的なビジネス文書の作成 07：シンプルなレポートや報告書の作成 08：シンプルなレポートや報告書の作成 09：シンプルなレポートや報告書の作成 10：表、画像、図形を使った文書の作成① 11：表、画像、図形を使った文書の作成① 12：表、画像、図形を使った文書の作成① 13：表、画像、図形を使った文書の作成② 14：表、画像、図形を使った文書の作成② 15：表、画像、図形を使った文書の作成②	回			
テキスト 参考文献	大原出版「PCPパソコン実習テキスト」　等				
成績基準	取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の平均得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までにテキスト等を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	PC演習(表計算)	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	山本里紗 新村優希
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 Excel を使用し、請求書、見積書、売上報告書、名簿などを作成する問題を解くことで、これらのビジネス文書を作る能力を身に付ける。 【概要】 企業などで実際に使われている様々なビジネス文書を作成する能力を習得する。				
到達目標	Excelを活用した実践に役立つビジネス文書の作成法を用い、所定の効果測定に合格できる。				
授業内容	回 01：表作成の基本操作 02：見やすく使いやすい表にする編集操作 03：見やすく使いやすい表にする編集操作 04：数式・関数を活用した集計表の作成 05：数式・関数を活用した集計表の作成 06：数式・関数を活用した集計表の作成 07：ワークシート間の集計 08：ワークシート間の集計 09：ワークシート間の集計 10：グラフの基本 11：グラフの基本 12：グラフの基本 13：目的に応じたグラフの作成と編集 14：目的に応じたグラフの作成と編集 15：目的に応じたグラフの作成と編集	回			
テキスト 参考文献	大原出版「PCPパソコン実習テキスト」　等				
成績基準	取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の平均得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までにテキスト等を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	企業研修Ⅰ	授業形態	実習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	榊原大介
授業回数	105	単位時間数	210	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 内定先企業での実務を通し、学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を企業現場で使える知識・技術として向上させ、内定先企業の社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業で行われるOJT研修などでの「月間報告書」を、同企業社員や職員による外部からの評価とみなし、実習後の自己評価と合わせて能力や適性を理解する。				
到達目標	内定先企業にて実習を経験することを通じて、本業務・付随業務に対する関心を深めるとともに、企業現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				

授業内容	回	回
	01：内定先企業研修の主旨理解 02：必要書類作成指導 03：当該企業社員・職員啓蒙講演 04：基礎知識の習得指導 05：基礎知識の習得指導 06：基礎知識の習得指導 07：インターンシップの実施及び面接・総括 08：インターンシップの実施及び面接・総括 09：インターンシップの実施及び面接・総括 10：インターンシップの実施及び面接・総括 11：インターンシップの実施及び面接・総括 12：インターンシップの実施及び面接・総括 13：インターンシップの実施及び面接・総括 14：インターンシップの実施及び面接・総括 15：インターンシップの実施及び面接・総括	16：インターンシップの実施及び面接・総括 17：インターンシップの実施及び面接・総括 18：インターンシップの実施及び面接・総括 19：インターンシップの実施及び面接・総括 20：インターンシップの実施及び面接・総括 21：インターンシップの実施及び面接・総括 22：インターンシップの実施及び面接・総括 23：インターンシップの実施及び面接・総括 24：インターンシップの実施及び面接・総括 25：インターンシップの実施及び面接・総括 26：インターンシップの実施及び面接・総括 27：インターンシップの実施及び面接・総括 28：インターンシップの実施及び面接・総括 29：インターンシップの実施及び面接・総括 30：インターンシップの実施及び面接・総括

テキスト 参考文献	特になし
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、実習先企業・医療機関に評価していただいた学校指定の評価シートの内容に基づき次の通り評価する。総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。
準備学習の 内　容	内定先企業の施設概要・業務内容等を下調べをしておく。

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	企業研修Ⅰ	授業形態	実習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	榊原大介
授業回数	105	単位時間数	210	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 内定先企業での実務を通し、学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を企業現場で使える知識・技術として向上させ、内定先企業の社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業で行われるOJT研修などでの「月間報告書」を、同企業社員や職員による外部からの評価とみなし、実習後の自己評価と合わせて能力や適性を理解する。				
到達目標	内定先企業にて実習を経験することを通じて、本業務・付随業務に対する関心を深めるとともに、企業現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				
授業内容	回 31：インターンシップの実施及び面接・総括 32：インターンシップの実施及び面接・総括 33：インターンシップの実施及び面接・総括 34：インターンシップの実施及び面接・総括 35：インターンシップの実施及び面接・総括 36：インターンシップの実施及び面接・総括 37：インターンシップの実施及び面接・総括 38：インターンシップの実施及び面接・総括 39：インターンシップの実施及び面接・総括 40：インターンシップの実施及び面接・総括 41：インターンシップの実施及び面接・総括 42：インターンシップの実施及び面接・総括 43：インターンシップの実施及び面接・総括 44：インターンシップの実施及び面接・総括 45：インターンシップの実施及び面接・総括		回 46：インターンシップの実施及び面接・総括 47：インターンシップの実施及び面接・総括 48：インターンシップの実施及び面接・総括 49：インターンシップの実施及び面接・総括 50：インターンシップの実施及び面接・総括 51：インターンシップの実施及び面接・総括 52：インターンシップの実施及び面接・総括 53：インターンシップの実施及び面接・総括 54：インターンシップの実施及び面接・総括 55：インターンシップの実施及び面接・総括 56：インターンシップの実施及び面接・総括 57：インターンシップの実施及び面接・総括 58：インターンシップの実施及び面接・総括 59：インターンシップの実施及び面接・総括 60：インターンシップの実施及び面接・総括		
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、実習先企業・医療機関に評価していただいた学校指定の評価シートの内容に基づき次の通り評価する。総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。				
準備学習の内　容	内定先企業の施設概要・業務内容等を下調べをしておく。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	企業研修Ⅰ	授業形態	実習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	榊原大介
授業回数	105	単位時間数	210	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 内定先企業での実務を通し、学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を企業現場で使える知識・技術として向上させ、内定先企業の社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業で行われるOJT研修などでの「月間報告書」を、同企業社員や職員による外部からの評価とみなし、実習後の自己評価と合わせて能力や適性を理解する。				
到達目標	内定先企業にて実習を経験することを通じて、本業務・付随業務に対する関心を深めるとともに、企業現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				
授業内容	回 61：インターンシップの実施及び面接・総括 62：インターンシップの実施及び面接・総括 63：インターンシップの実施及び面接・総括 64：インターンシップの実施及び面接・総括 65：インターンシップの実施及び面接・総括 66：インターンシップの実施及び面接・総括 67：インターンシップの実施及び面接・総括 68：インターンシップの実施及び面接・総括 69：インターンシップの実施及び面接・総括 70：インターンシップの実施及び面接・総括 71：インターンシップの実施及び面接・総括 72：インターンシップの実施及び面接・総括 73：インターンシップの実施及び面接・総括 74：インターンシップの実施及び面接・総括 75：インターンシップの実施及び面接・総括		回 76：インターンシップの実施及び面接・総括 77：インターンシップの実施及び面接・総括 78：インターンシップの実施及び面接・総括 79：インターンシップの実施及び面接・総括 80：インターンシップの実施及び面接・総括 81：インターンシップの実施及び面接・総括 82：インターンシップの実施及び面接・総括 83：インターンシップの実施及び面接・総括 84：インターンシップの実施及び面接・総括 85：インターンシップの実施及び面接・総括 86：インターンシップの実施及び面接・総括 87：インターンシップの実施及び面接・総括 88：インターンシップの実施及び面接・総括 89：インターンシップの実施及び面接・総括 90：インターンシップの実施及び面接・総括		
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、実習先企業・医療機関に評価していただいた学校指定の評価シートの内容に基づき次の通り評価する。総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。				
準備学習の 内　容	内定先企業の施設概要・業務内容等を下調べをしておく。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	企業研修Ⅰ	授業形態	実習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	榊原大介
授業回数	105	単位時間数	210	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 内定先企業での実務を通し、学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を企業現場で使える知識・技術として向上させ、内定先企業の社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業で行われるOJT研修などでの「月間報告書」を、同企業社員や職員による外部からの評価とみなし、実習後の自己評価と合わせて能力や適性を理解する。				
到達目標	内定先企業にて実習を経験することを通じて、本業務・付随業務に対する関心を深めるとともに、企業現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				
授業内容	回 91：インターンシップの実施及び面接・総括 92：インターンシップの実施及び面接・総括 93：インターンシップの実施及び面接・総括 94：インターンシップの実施及び面接・総括 95：インターンシップの実施及び面接・総括 96：インターンシップの実施及び面接・総括 97：インターンシップの実施及び面接・総括 98：インターンシップの実施及び面接・総括 99：インターンシップの実施及び面接・総括 100：インターンシップの実施及び面接・総括 101：インターンシップの実施及び面接・総括 102：インターンシップの実施及び面接・総括 103：インターンシップの実施及び面接・総括 104：インターンシップの実施及び面接・総括 105：インターンシップの実施及び面接・総括	回			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、実習先企業・医療機関に評価していただいた学校指定の評価シートの内容に基づき次の通り評価する。総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。				
準備学習の 内　容	内定先企業の施設概要・業務内容等を下調べをしておく。				

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	企業研修Ⅱ	授業形態	実習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	榊原大介
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 内定先企業での実務を通し、学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を企業現場で使える知識・技術として向上させ、内定先企業の社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業で行われるOJT研修などでの「月間報告書」を、同企業社員や職員による外部からの評価とみなし、実習後の自己評価と合わせて能力や適性を理解する。				
到達目標	内定先企業にて実習を経験することを通じて、本業務・付随業務に対する関心を深めるとともに、企業現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				

授業内容	回	回
	01：内定先企業研修の主旨理解	16：インターンシップの実施及び面接・総括
	02：必要書類作成指導	17：インターンシップの実施及び面接・総括
	03：当該企業社員・職員啓蒙講演	18：インターンシップの実施及び面接・総括
	04：基礎知識の習得指導	19：インターンシップの実施及び面接・総括
	05：基礎知識の習得指導	20：インターンシップの実施及び面接・総括
	06：基礎知識の習得指導	21：インターンシップの実施及び面接・総括
	07：インターンシップの実施及び面接・総括	22：インターンシップの実施及び面接・総括
	08：インターンシップの実施及び面接・総括	23：インターンシップの実施及び面接・総括
	09：インターンシップの実施及び面接・総括	24：インターンシップの実施及び面接・総括
	10：インターンシップの実施及び面接・総括	25：インターンシップの実施及び面接・総括
	11：インターンシップの実施及び面接・総括	26：インターンシップの実施及び面接・総括
	12：インターンシップの実施及び面接・総括	27：インターンシップの実施及び面接・総括
	13：インターンシップの実施及び面接・総括	28：インターンシップの実施及び面接・総括
	14：インターンシップの実施及び面接・総括	29：インターンシップの実施及び面接・総括
	15：インターンシップの実施及び面接・総括	30：インターンシップの実施及び面接・総括

テキスト 参考文献	特になし
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、実習先企業・医療機関に評価していただいた学校指定の評価シートの内容に基づき次の通り評価する。総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。
準備学習の 内　容	内定先企業の施設概要・業務内容等を下調べをしておく。

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	企業研修Ⅱ	授業形態	実習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	榊原大介
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 内定先企業での実務を通し、学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を企業現場で使える知識・技術として向上させ、内定先企業の社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業で行われるOJT研修などでの「月間報告書」を、同企業社員や職員による外部からの評価とみなし、実習後の自己評価と合わせて能力や適性を理解する。				
到達目標	内定先企業にて実習を経験することを通じて、本業務・付随業務に対する関心を深めるとともに、企業現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				
授業内容	回 31：インターンシップの実施及び面接・総括 32：インターンシップの実施及び面接・総括 33：インターンシップの実施及び面接・総括 34：インターンシップの実施及び面接・総括 35：インターンシップの実施及び面接・総括 36：インターンシップの実施及び面接・総括 37：インターンシップの実施及び面接・総括 38：インターンシップの実施及び面接・総括 39：インターンシップの実施及び面接・総括 40：インターンシップの実施及び面接・総括 41：インターンシップの実施及び面接・総括 42：インターンシップの実施及び面接・総括 43：インターンシップの実施及び面接・総括 44：インターンシップの実施及び面接・総括 45：インターンシップの実施及び面接・総括	回			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、実習先企業・医療機関に評価していただいた学校指定の評価シートの内容に基づき次の通り評価する。総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。				
準備学習の 内　容	内定先企業の施設概要・業務内容等を下調べをしておく。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	就職対策Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	渡辺将史 西田裕香
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動を円滑にかつ効率的に進めることを目的とする。また人生設計の礎をしっかり根付かせることで、自分で考え、行動し、決断できる学生の育成を目指す。 【概要】 将来の職業意識を高め、就職試験対策として必要な基礎知識習得や自己分析等の受験準備指導を、集団形式・個別形式を交えて行う。				
到達目標	社会に認められる（内定獲得）ことで、学生から社会人（子供から大人）への精神的な成長を実感させる。				
授業内容	回 01：自己分析と自己PR文の作成 02：自己分析と自己PR文の作成 03：応募書類の準備と作成 04：応募書類の準備と作成 05：志望動機についての文章作成 06：志望動機についての文章作成 07：面接試験における質問に対する回答作成 08：面接試験における質問に対する回答作成 09：企業訪問や見学における立ち居振舞い 10：企業訪問や見学における立ち居振舞い 11：個別面接練習 12：個別面接練習 13：個別面接練習 14：集団面接練習 15：集団面接練習	回			
テキスト 参考文献	大原学園「就職ガイドブック」「就職ノートブック」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、必要に応じて授業内容に基づいた習熟度合いの測定を行い、次の通り総合評価する。総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。				
準備学習の 内　容	放課後における自主的面接練習、履歴書を含む就職関連書類の早期作成を意識し、自己計画・自己管理の元、取り組む。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論C	授業形態	講義	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	85	単位時間数	170	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：実力判定公開模擬試験 02：実力判定公開模擬試験 03：実力判定公開模擬試験 04：実力判定公開模擬試験 05：実力判定公開模擬試験 06：実力判定公開模擬試験 07：実力判定公開模擬試験 08：実力判定公開模擬試験 09：実力判定公開模擬試験 10：実力判定公開模擬試験 11：実力判定公開模擬試験 12：実力判定公開模擬試験 13：実力判定公開模擬試験 14：過去問題演習 15：過去問題演習	16：過去問題演習 17：過去問題演習 18：過去問題演習 19：過去問題演習 20：過去問題演習 21：過去問題演習 22：過去問題演習 23：過去問題演習 24：過去問題演習 25：過去問題演習 26：直前対策模擬試験 27：直前対策模擬試験 28：直前対策模擬試験 29：直前対策模擬試験 30：直前対策模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論C	授業形態	講義	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	85	単位時間数	170	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：直前対策模擬試験 32：直前対策模擬試験 33：直前対策模擬試験 34：直前対策模擬試験 35：直前対策模擬試験 36：プレ模擬試験 37：プレ模擬試験 38：プレ模擬試験 39：プレ模擬試験 40：全国統一公開模擬試験 41：全国統一公開模擬試験 42：全国統一公開模擬試験 43：全国統一公開模擬試験 44：全国統一公開模擬試験 45：全国統一公開模擬試験	46：全国統一公開模擬試験 47：全国統一公開模擬試験 48：全国統一公開模擬試験 49：全国統一公開模擬試験 50：全国統一公開模擬試験 51：直前予想公開模擬試験 52：直前予想公開模擬試験 53：直前予想公開模擬試験 54：直前予想公開模擬試験 55：直前予想公開模擬試験 56：直前予想公開模擬試験 57：直前予想公開模擬試験 58：直前予想公開模擬試験 59：直前予想公開模擬試験 60：直前予想公開模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論C	授業形態	講義	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	85	単位時間数	170	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	61：直前予想公開模擬試験 62：直前予想公開模擬試験 63：直前予想公開模擬試験 64：直前予想公開模擬試験 65：総復習 66：総復習 67：総復習 68：総復習 69：総復習 70：総復習 71：総復習 72：総復習 73：総復習 74：総復習 75：総復習	76：総復習 77：総復習 78：総復習 79：総復習 80：総復習 81：総復習 82：総復習 83：総復習 84：総復習 85：総復習

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論演習	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	135	単位時間数	270	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：有価証券 02：有価証券 03：有価証券 04：固定資産 05：固定資産 06：固定資産 07：固定資産 08：連結会計 09：連結会計 10：連結会計 11：リース会計 12：リース会計 13：資産除去債務 14：資産除去債務 15：資産除去債務	16：組織再編会計 17：組織再編会計 18：組織再編会計 19：組織再編会計 20：組織再編会計 21：組織再編会計 22：組織再編会計 23：組織再編会計 24：組織再編会計 25：分配可能額 26：分配可能額 27：分配可能額 28：帳簿組織 29：帳簿組織 30：帳簿組織

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論演習	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	135	単位時間数	270	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：過去問題演習 32：過去問題演習 33：過去問題演習 34：過去問題演習 35：過去問題演習 36：過去問題演習 37：過去問題演習 38：過去問題演習 39：過去問題演習 40：過去問題演習 41：過去問題演習 42：過去問題演習 43：過去問題演習 44：過去問題演習 45：過去問題演習	46：実力判定公開模擬試験 47：実力判定公開模擬試験 48：実力判定公開模擬試験 49：実力判定公開模擬試験 50：実力判定公開模擬試験 51：実力判定公開模擬試験 52：実力判定公開模擬試験 53：実力判定公開模擬試験 54：実力判定公開模擬試験 55：実力判定公開模擬試験 56：実力判定公開模擬試験 57：実力判定公開模擬試験 58：実力判定公開模擬試験 59：実力判定公開模擬試験 60：実力判定公開模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論演習	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	135	単位時間数	270	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	61：過去問題演習 62：過去問題演習 63：過去問題演習 64：過去問題演習 65：過去問題演習 66：過去問題演習 67：過去問題演習 68：過去問題演習 69：過去問題演習 70：過去問題演習 71：過去問題演習 72：過去問題演習 73：過去問題演習 74：過去問題演習 75：過去問題演習	76：直前対策模擬試験 77：直前対策模擬試験 78：直前対策模擬試験 79：直前対策模擬試験 80：直前対策模擬試験 81：直前対策模擬試験 82：直前対策模擬試験 83：直前対策模擬試験 84：直前対策模擬試験 85：直前対策模擬試験 86：直前対策模擬試験 87：プレ模擬試験 88：プレ模擬試験 89：プレ模擬試験 90：プレ模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論演習	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	135	単位時間数	270	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	91：全国統一公開模擬試験 92：全国統一公開模擬試験 93：全国統一公開模擬試験 94：全国統一公開模擬試験 95：全国統一公開模擬試験 96：全国統一公開模擬試験 97：全国統一公開模擬試験 98：全国統一公開模擬試験 99：全国統一公開模擬試験 100：全国統一公開模擬試験 101：全国統一公開模擬試験 102：全国統一公開模擬試験 103：全国統一公開模擬試験 104：全国統一公開模擬試験 105：全国統一公開模擬試験	106：直前予想公開模擬試験 107：直前予想公開模擬試験 108：直前予想公開模擬試験 109：直前予想公開模擬試験 110：直前予想公開模擬試験 111：直前予想公開模擬試験 112：直前予想公開模擬試験 113：直前予想公開模擬試験 114：直前予想公開模擬試験 115：直前予想公開模擬試験 116：直前予想公開模擬試験 117：直前予想公開模擬試験 118：直前予想公開模擬試験 119：直前予想公開模擬試験 120：直前予想公開模擬試験
テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」	
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。	
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること	

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	簿記論演習	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	135	単位時間数	270	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 121：総復習 122：総復習 123：総復習 124：総復習 125：総復習 126：総復習 127：総復習 128：総復習 129：総復習 130：総復習 131：総復習 132：総復習 133：総復習 134：総復習 135：総復習	回			
テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務会計論B	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	30	単位時間数	60	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記における中、上級レベルの計算処理技術の理解に基づき演習及び解説により公認会計士短答式及び論文式試験の財務会計論受験のための答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	正確な計算処理技術の習得とその背景にある理論的な側面を習得すること。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説		回 16：演習問題の解答及び解説 17：演習問題の解答及び解説 18：演習問題の解答及び解説 19：演習問題の解答及び解説 20：演習問題の解答及び解説 21：演習問題の解答及び解説 22：演習問題の解答及び解説 23：演習問題の解答及び解説 24：演習問題の解答及び解説 25：演習問題の解答及び解説 26：演習問題の解答及び解説 27：演習問題の解答及び解説 28：演習問題の解答及び解説 29：演習問題の解答及び解説 30：演習問題の解答及び解説		
テキスト 参考文献	財務会計論Ⅰ～Ⅴテキスト、問題集会計学Ⅱ基礎演習問題（４回）短答式直前対策演習（8回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	管理会計論B	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	30	単位時間数	60	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経営管理者に役立つ経済的情報を提供する会計知識を習得し、演習及び解説により公認会計士短答式及び論文式試験の管理会計論受験のための答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	原価計算・管理会計の知識と計算技術の習得とともにその理論的な側面を習得				

授業内容	回	回
	01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	16：演習問題の解答及び解説 17：演習問題の解答及び解説 18：演習問題の解答及び解説 19：演習問題の解答及び解説 20：演習問題の解答及び解説 21：演習問題の解答及び解説 22：演習問題の解答及び解説 23：演習問題の解答及び解説 24：演習問題の解答及び解説 25：演習問題の解答及び解説 26：演習問題の解答及び解説 27：演習問題の解答及び解説 28：演習問題の解答及び解説 29：演習問題の解答及び解説 30：演習問題の解答及び解説

テキスト 参考文献	管理会計論Ⅰ・Ⅱ　問題集Ⅲ、解答解説集会計学Ⅰ基礎演習問題（４回）短答式直前対策演習（8回）
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	監査論B	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表の監査証明業務の枠組みや理論的裏付けを身に付け、演習及び解説により公認会計士短答式及び論文式試験の監査論受験のための答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	独立した立場による監査人の監査業務に関して必要となる指針を学習し、金融商品取引法や会社法に基づく財務諸表監査において、実務上要求される知識と監査技術を習得する。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	監査論テキスト、問題集、ポケットコンパス肢別チェック実力養成演習（6回）監査論基礎演習（4回）短答式直前演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストを読み直し、理解と基本的な概念、定義等の暗記を行い次の演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	企業法B	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 私企業の存在と活動を規律する法の知識を習得し、演習及び解説により公認会計士試験短答式及び論文式試験企業法の答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	全法体系における株式会社法の位置づけ、株式会社における種類に応じた機関構成と権限配分、業務執行者の権限及び業務と責任、株式会社の監査体制日ついて理解すること。諸制度を理解することにより、現実社会の諸活動を見通すことのできる知見を養う。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	【使用テキスト・参考文献】企業法Ⅰ～Ⅱ、問題集、ポケットコンパス、肢別チェック実力養成演習（6回）企業法基礎演習（4回）、短答式直前演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストを読み直し、理解と基本的概念、定義等の暗記を行い次の演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	租税法B	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税、所得税、消費税などの法律等の知識と計算技術を習得し、公認会計士論文式租税法の答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	我が国における租税法の基本的知識及び理解し、高度な実務が実践できる専門的な能力を習得する。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	租税法Ⅰ～Ⅲ、各問題集、解答集ポケットコンパスステップ演習Ⅰ（3回）論文基礎演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	演習問題の復習、テキストの例題の復習を行い知識の定着を図り次の演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	経営学B	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経営学の基礎的知識、経営組織論、経営戦略論、日々の経済活動にみられる金融現象を体系的に理解し、公認会計士試験短答式及び論文式試験経営学の答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	経営学の基礎的知識、経営組織論、経営戦略論、日々の経済活動にみられる金融現象を基本的な概念や理論を理解し、説明できるようになる。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	テキスト(上・下巻)、問題集、ポケットコンパス演習問題				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	準備学習は、テキストを精読し、iPad等を利用し専門用語を調べ演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	会計学	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	30	単位時間数	60	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士論文式試験会計学の合格のため財務会計論、管理会計論で習得した会計知識・計算処理技術の完成を目指し学習します。 【概要】 演習問題解答、解説により論文形式の解答作成能力を高めていきます。				
到達目標	公認会計士論文式試験会計学合格。				

授業内容	回	回
	01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	16：演習問題の解答及び解説 17：演習問題の解答及び解説 18：演習問題の解答及び解説 19：演習問題の解答及び解説 20：演習問題の解答及び解説 21：演習問題の解答及び解説 22：演習問題の解答及び解説 23：演習問題の解答及び解説 24：演習問題の解答及び解説 25：演習問題の解答及び解説 26：演習問題の解答及び解説 27：演習問題の解答及び解説 28：演習問題の解答及び解説 29：演習問題の解答及び解説 30：演習問題の解答及び解説

テキスト 参考文献	財務会計論Ⅰ～Ⅴテキスト、問題集会計学応用演習（8回）、直前演習（8回）ステップ直前演習（8回）
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	監査論Ｃ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士論文式試験監査論の合格のため財務諸表の監査証明業務の枠組みや理論的裏付けの完成を目指し学習します。 【概要】 演習問題解答、解説により論文形式の解答作成能力を高めていきます。				
到達目標	公認会計士論文式試験監査論の合格。				

授業内容	回	回
	01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	

テキスト 参考文献	監査論テキスト、問題集、ポケットコンパス肢別チェック監査論応用演習（4回）論文式直前演習（4回）
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	テキストを読み直し、理解と基本的な概念、定義等の暗記を行い次の演習に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	企業法Ｃ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士論文式試験企業法の合格のため私企業の存在と活動を規律する法の知識の完成を目指し学習します。 【概要】 演習問題解答、解説により論文形式の解答作成能力を高めていきます。				
到達目標	公認会計士論文式試験企業法の合格。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	企業法Ⅰ～Ⅱ、問題集、ポケットコンパス、肢別チェック企業法応用演習（4回）、論文式直前演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストを読み直し、理解と基本的概念、定義等の暗記を行い次の演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	租税法Ｃ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士論文式試験租税法の合格のため法人税、所得税、消費税などの法律等の知識と計算技術の完成を目指し学習します。 【概要】 演習問題解答、解説により論文形式の解答作成能力を高めていきます。				
到達目標	公認会計士論文式試験租税法の合格。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	租税法Ⅰ～Ⅲ、各問題集、解答集ポケットコンパス論文応用演習（４回）、ステップ演習Ⅱ（3回）論文直対演習（4回）、ステップ演習直対（8回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	演習問題の復習、テキストの例題の復習を行い知識の定着を図り次の演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	経営学Ｃ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士論文式試験経営学の合格のため経営学の基礎的知識、経営組織論、経営戦略論、日々の経済活動にみられる金融現象の体系的理解の完成を目指し学習します。 【概要】 演習問題解答、解説により論文形式の解答作成能力を高めていきます。				
到達目標	公認会計士論文式試験経営学の合格。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	テキスト(上・下巻)、問題集、ポケットコンパス論文基礎演習（4回）論文応用演習（4回）論文直対演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	準備学習は、テキストを精読し、iPad等を利用し専門用語を調べ演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務会計論演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	30	単位時間数	60	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記における中、上級レベルの計算処理技術の理解に基づき演習及び解説により公認会計士短答式財務会計論受験のための答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	正確な計算処理技術の習得とその背景にある理論的な側面を習得すること。				

授業内容	回	回
	01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	16：演習問題の解答及び解説 17：演習問題の解答及び解説 18：演習問題の解答及び解説 19：演習問題の解答及び解説 20：演習問題の解答及び解説 21：演習問題の解答及び解説 22：演習問題の解答及び解説 23：演習問題の解答及び解説 24：演習問題の解答及び解説 25：演習問題の解答及び解説 26：演習問題の解答及び解説 27：演習問題の解答及び解説 28：演習問題の解答及び解説 29：演習問題の解答及び解説 30：演習問題の解答及び解説

テキスト 参考文献	財務会計論Ⅰ～Ⅴテキスト、問題集ステップアップ演習Ⅰ（16回）短答実力養成答練（6回）、短答直対演習（4回）
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の演習に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	管理会計論演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	30	単位時間数	60	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経営管理者に役立つ経済的情報を提供する会計知識を習得し、演習及び解説により公認会計士短答式試験の管理会計論受験のための答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	原価計算・管理会計の知識と計算技術の習得とともにその理論的な側面を習得				

授業内容	回	回
	01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	16：演習問題の解答及び解説 17：演習問題の解答及び解説 18：演習問題の解答及び解説 19：演習問題の解答及び解説 20：演習問題の解答及び解説 21：演習問題の解答及び解説 22：演習問題の解答及び解説 23：演習問題の解答及び解説 24：演習問題の解答及び解説 25：演習問題の解答及び解説 26：演習問題の解答及び解説 27：演習問題の解答及び解説 28：演習問題の解答及び解説 29：演習問題の解答及び解説 30：演習問題の解答及び解説

テキスト 参考文献	管理会計論Ⅰ・Ⅱ　問題集、解答解説集ステップ演習Ⅰ（14回）、短答直対演習（4回）
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と問題の演習を行い知識の定着を図り次の演習に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	監査論演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表の監査証明業務の枠組みや理論的裏付けを身に付け、演習及び解説により公認会計士短答式試験の監査論受験のための答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	独立した立場による監査人の監査業務に関して必要となる指針を学習し、金融商品取引法や会社法に基づく財務諸表監査において、実務上要求される知識と監査技術を習得する。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	監査論テキスト、問題集、ポケットコンパス肢別チェック短答実力養成答練（6回）、短答直対演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストを読み直し、理解と基本的な概念、定義等の暗記を行い次の演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	企業法演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 私企業の存在と活動を規律する法の知識を習得し、演習及び解説により公認会計士試験短答式試験企業法の答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	全法体系における株式会社法の位置づけ、株式会社における種類に応じた機関構成と権限配分、業務執行者の権限及び業務と責任、株式会社の監査体制日ついて理解すること。諸制度を理解することにより、現実社会の諸活動を見通すことのできる知見を養う。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	企業法Ⅰ～Ⅱ、問題集、ポケットコンパス、肢別チェック短答実力養成演習（6回）、短答直対演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストを読み直し、理解と基本的概念、定義等の暗記を行い次の演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	租税法演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税、所得税、消費税などの法律等の知識と計算技術を習得し、公認会計士論文式租税法の答案作成能力を磨きます。 【概要】 重要論点の再確認と演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとしていきます。				
到達目標	我が国における租税法の基本的知識及び理解し、高度な実務が実践できる専門的な能力を習得する。				

授業内容	回	回
	01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	

テキスト 参考文献	租税法Ⅰ～Ⅲ、各問題集、解答集ポケットコンパス演習問題
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	演習問題の復習、テキストの例題の復習を行い知識の定着を図り次の演習に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	経営学演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経営学の基礎的知識、経営組織論、経営戦略論、日々の経済活動にみられる金融現象を体系的に理解し、公認会計士試験論文式試験経営学の答案作成能力を磨きます。 【概要】 重要論点の確認、演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	経営学の基礎的知識、経営組織論、経営戦略論、日々の経済活動にみられる金融現象を基本的な概念や理論を理解し、説明できるようになる。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	テキスト(上・下巻)、問題集、ポケットコンパス演習問題				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	準備学習は、テキストを精読し、iPad等を利用し専門用語を調べ演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	会計学演習	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士論文式試験会計学の合格のため財務会計論、管理会計論の基礎を習得します。 【概要】 重要論点の確認、演習問題解答、解説により論文形式の解答作成能力を高めていきます。				
到達目標	公認会計士論文式試験会計学合格。				

授業内容	回	回
	01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	

テキスト 参考文献	財務会計論Ⅰ～Ⅴテキスト、問題集論文基礎演習（8回）
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	財務会計論演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記における中、上級レベルの計算処理技術の理解に基づき演習及び解説により公認会計士短答式及び論文式試験の財務会計論受験のための答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	正確な計算処理技術の習得とその背景にある理論的な側面を習得すること。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	財務会計論Ⅰ～Ⅴテキスト、問題集ステップ演習Ⅱ（14回）短答式直対演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	管理会計論演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経営管理者に役立つ経済的情報を提供する会計知識を習得し、演習及び解説により公認会計士短答式及び論文式試験の管理会計論受験のための答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	原価計算・管理会計の知識と計算技術の習得とともにその理論的な側面を習得				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	管理会計論Ⅰ・Ⅱ　問題集、解答解説集ステップ演習Ⅱ（10回）、短答直対演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と問題の演習を行い知識の定着を図り次の演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	監査論演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表の監査証明業務の枠組みや理論的裏付けを身に付け、演習及び解説により公認会計士短答式及び論文式試験の監査論受験のための答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	独立した立場による監査人の監査業務に関して必要となる指針を学習し、金融商品取引法や会社法に基づく財務諸表監査において、実務上要求される知識と監査技術を習得する。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	監査論テキスト、問題集、ポケットコンパス肢別チェック論文基礎演習（4回）、短答直対演習（4回）論文応用演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストを読み直し、理解と基本的な概念、定義等の暗記を行い次の演習に備える				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	企業法演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 私企業の存在と活動を規律する法の知識を習得し、演習及び解説により公認会計士試験短答式及び論文式試験企業法の答案作成能力を磨きます。 【概要】 演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	全法体系における株式会社法の位置づけ、株式会社における種類に応じた機関構成と権限配分、業務執行者の権限及び業務と責任、株式会社の監査体制日ついて理解すること。諸制度を理解することにより、現実社会の諸活動を見通すことのできる知見を養う。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	企業法Ⅰ～Ⅱ、問題集、ポケットコンパス、肢別チェック論文基礎演習（4回）、短答直対演習（4回）論文応用演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストを読み直し、理解と基本的概念、定義等の暗記を行い次の演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	租税法演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税、所得税、消費税などの法律等の知識と計算技術を習得し、公認会計士論文式租税法の答案作成能力を磨きます。 【概要】 重要論点の再確認と演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとしていきます。				
到達目標	我が国における租税法の基本的知識及び理解し、高度な実務が実践できる専門的な能力を習得する。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	租税法Ⅰ～Ⅲ、各問題集、解答集ポケットコンパスステップ演習Ⅰ（3回）論文基礎演習（4回）論文応用演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	演習問題の復習、テキストの例題の復習を行い知識の定着を図り次の演習に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：公認会計士税理士科		
授業科目	経営学演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経営学の基礎的知識、経営組織論、経営戦略論、日々の経済活動にみられる金融現象を体系的に理解し、公認会計士試験論文式試験経営学の答案作成能力を磨きます。 【概要】 重要論点の確認、演習問題によるアウトプット練習後、解説により知識を確実なものとして合格を期します				
到達目標	経営学の基礎的知識、経営組織論、経営戦略論、日々の経済活動にみられる金融現象を基本的な概念や理論を理解し、説明できるようになる。				
授業内容	回 01：演習問題の解答及び解説 02：演習問題の解答及び解説 03：演習問題の解答及び解説 04：演習問題の解答及び解説 05：演習問題の解答及び解説 06：演習問題の解答及び解説 07：演習問題の解答及び解説 08：演習問題の解答及び解説 09：演習問題の解答及び解説 10：演習問題の解答及び解説 11：演習問題の解答及び解説 12：演習問題の解答及び解説 13：演習問題の解答及び解説 14：演習問題の解答及び解説 15：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	テキスト(上・下巻)、問題集、ポケットコンパス演習問題、論文基礎演習（4回）				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	準備学習は、テキストを精読し、iPad等を利用し専門用語を調べ演習に備える。				